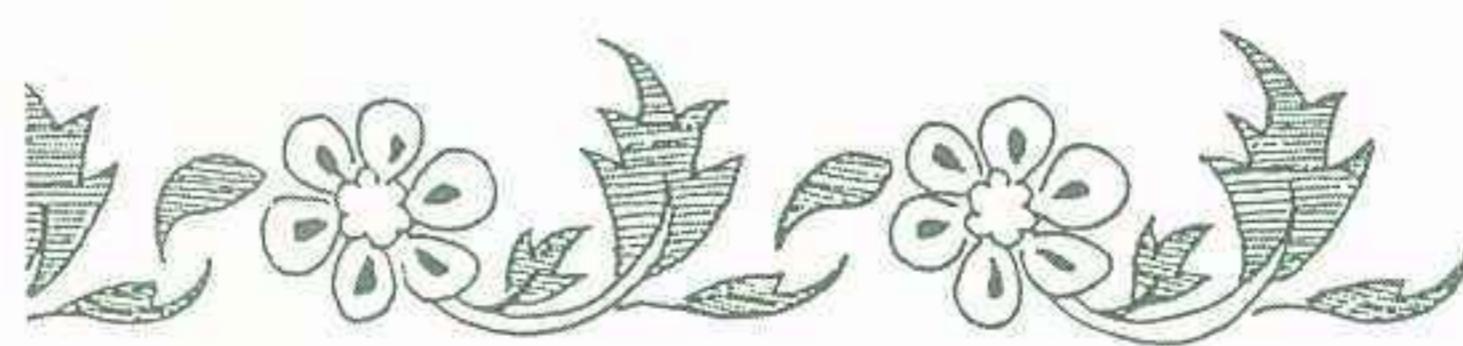




## 2. 格づけ



建築は私たちの場所の記憶を再現し、  
私たちの町を表現するものである。



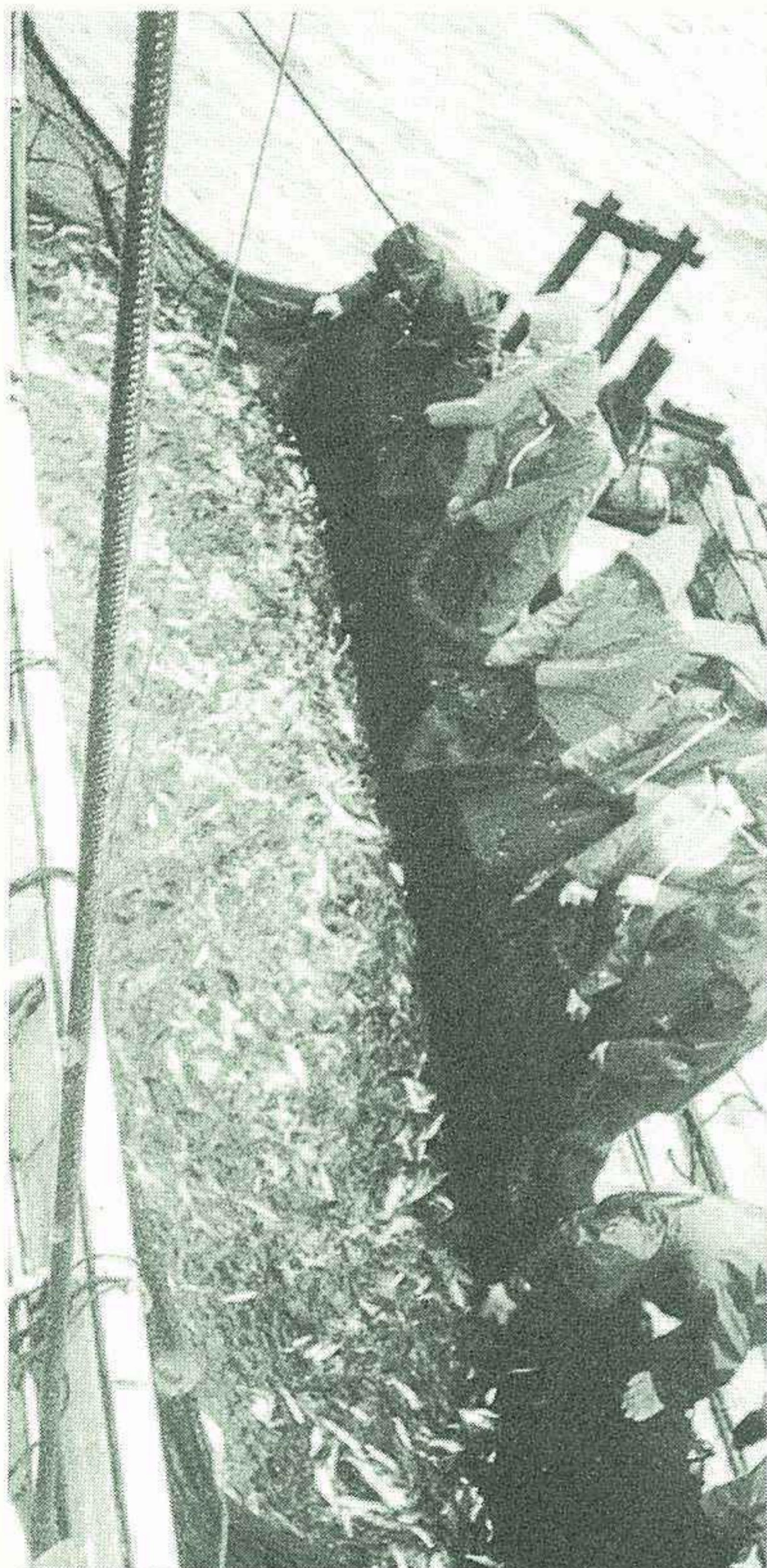
- 権威的でない格、支配的でない格、優しい格

## キーワード

## 前提条件

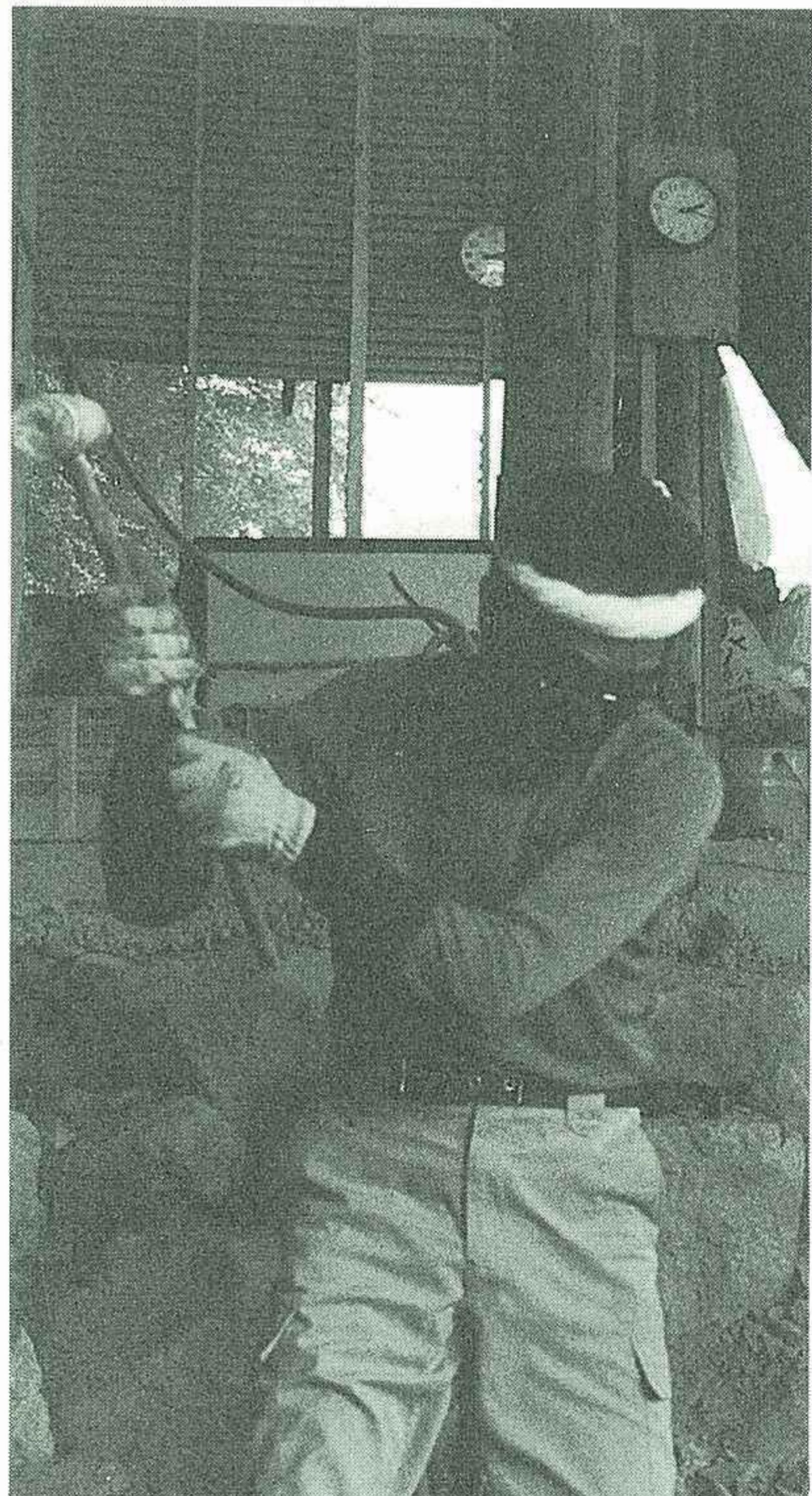
### ○海の仕事 山の仕事

●海の仕事、海の男たちの協同作業  
で得られる海の幸



建築の「格」とは「よい作法」でつくられているという意味である。真鶴町では建築として格を持つと思われるものは残念ながら、あまり残っていない。  
しかし「格」は、海で働く人、山で働く人々の表情の中にあると思われる。これらをどのように建築に取り組んでいったら、良いのだろうか？

●山の仕事、一つひとつ力を込めて割  
る間知石、大地の格をつ  
くる



## 解 決 法

海の仕事、山の仕事に敬意を払い少しでもそれらを活気づかせる計画を立てること。  
例えば海の仕事を活気づかせるための海鮮レストランの計画、観光漁業の企画、魚座ビアホールの構想、漁港及び関連施設の整備。山の仕事は石の積極的利用による建築の参加である。  
また農業を活気づかせる方法として町民農園等も考えられる。

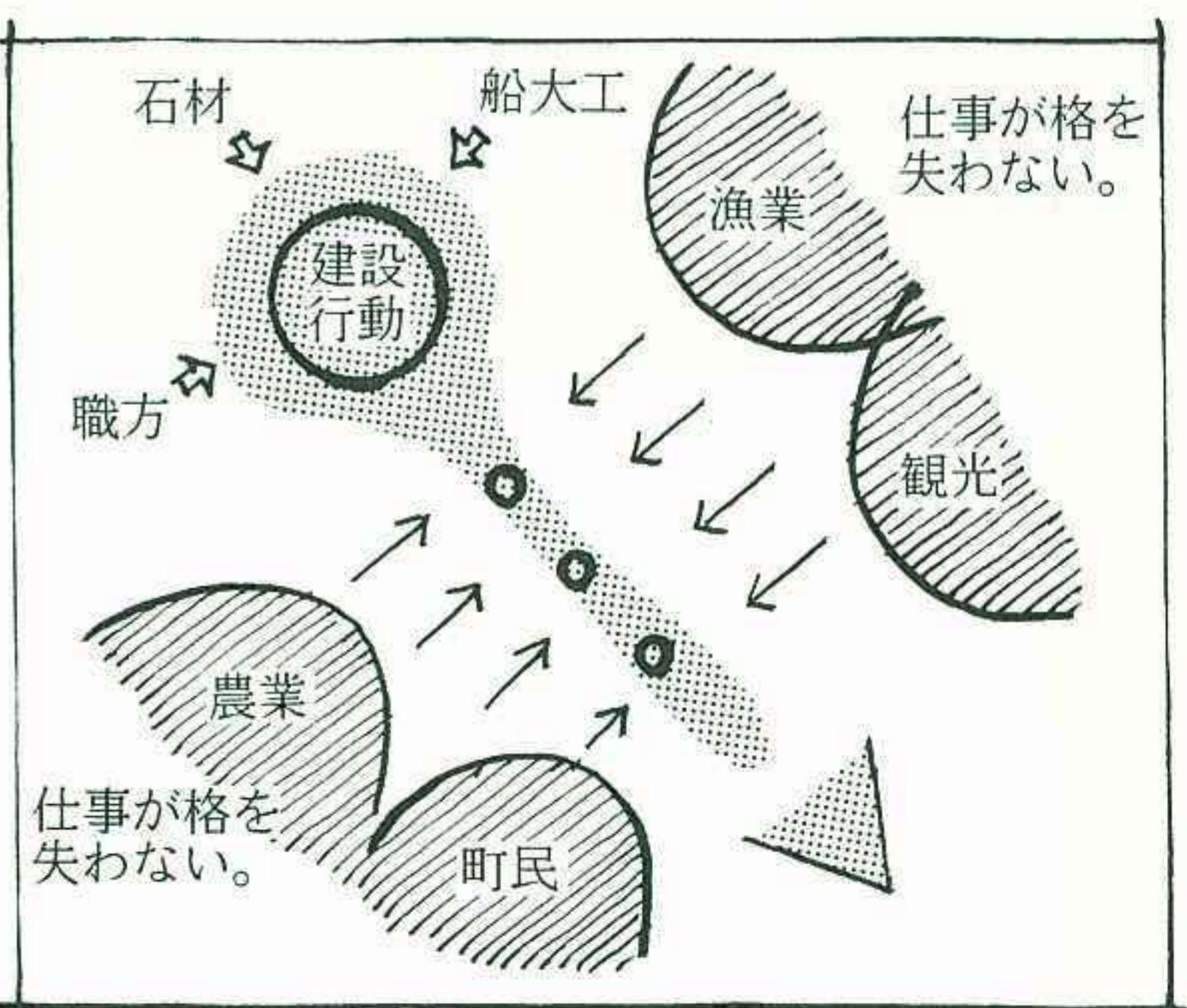
## 課 題

- ・岩海岸環境整備調査事業
- ・農村環境整備事業
- ・水産業高度化プロジェクト

### ●山の仕事、自然の中で、豊かな大地の実りを育てる



### ● 建築が町の仕事とかかわりを持つようにすること



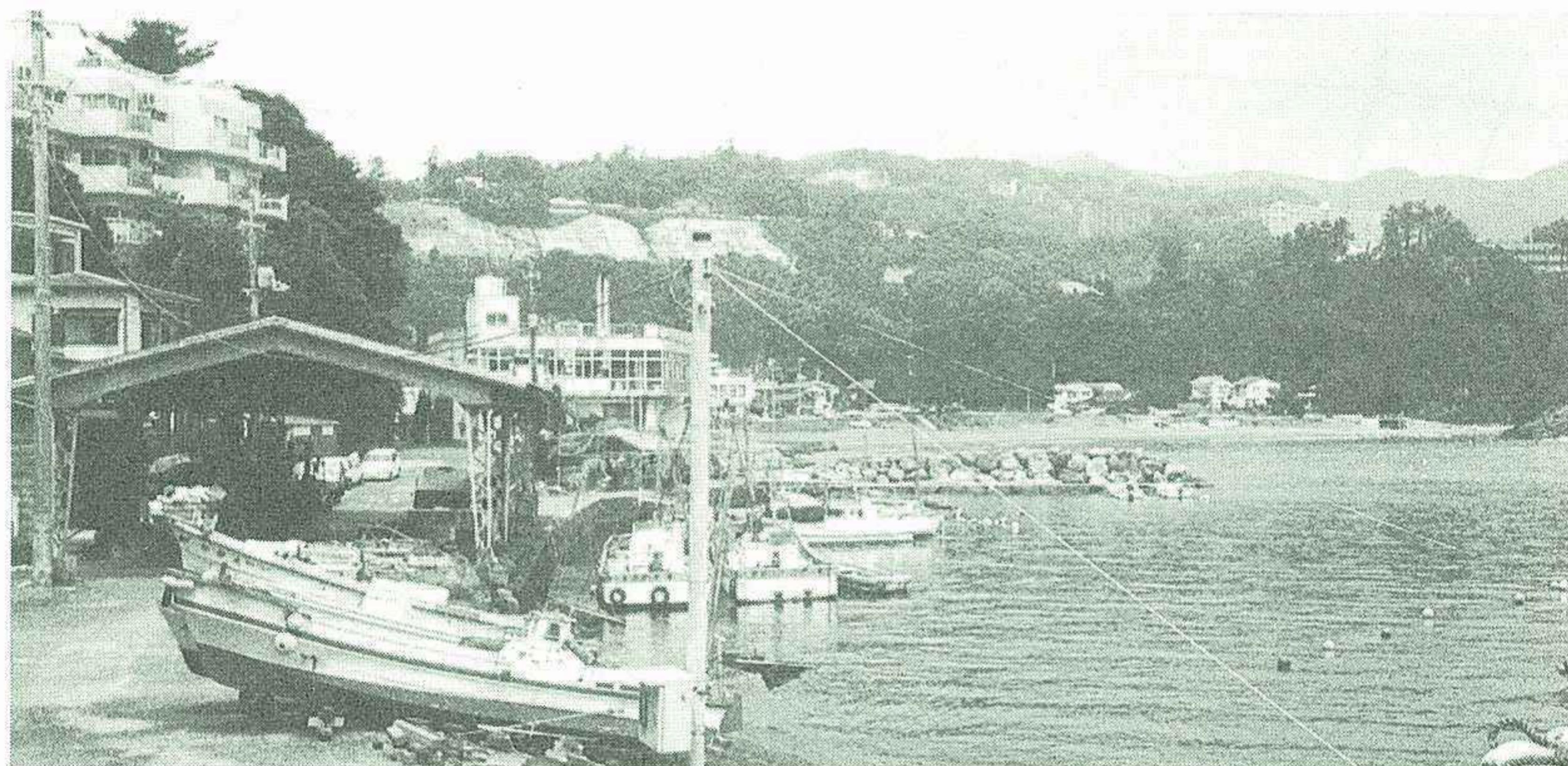
## キーワード

## 前提条件

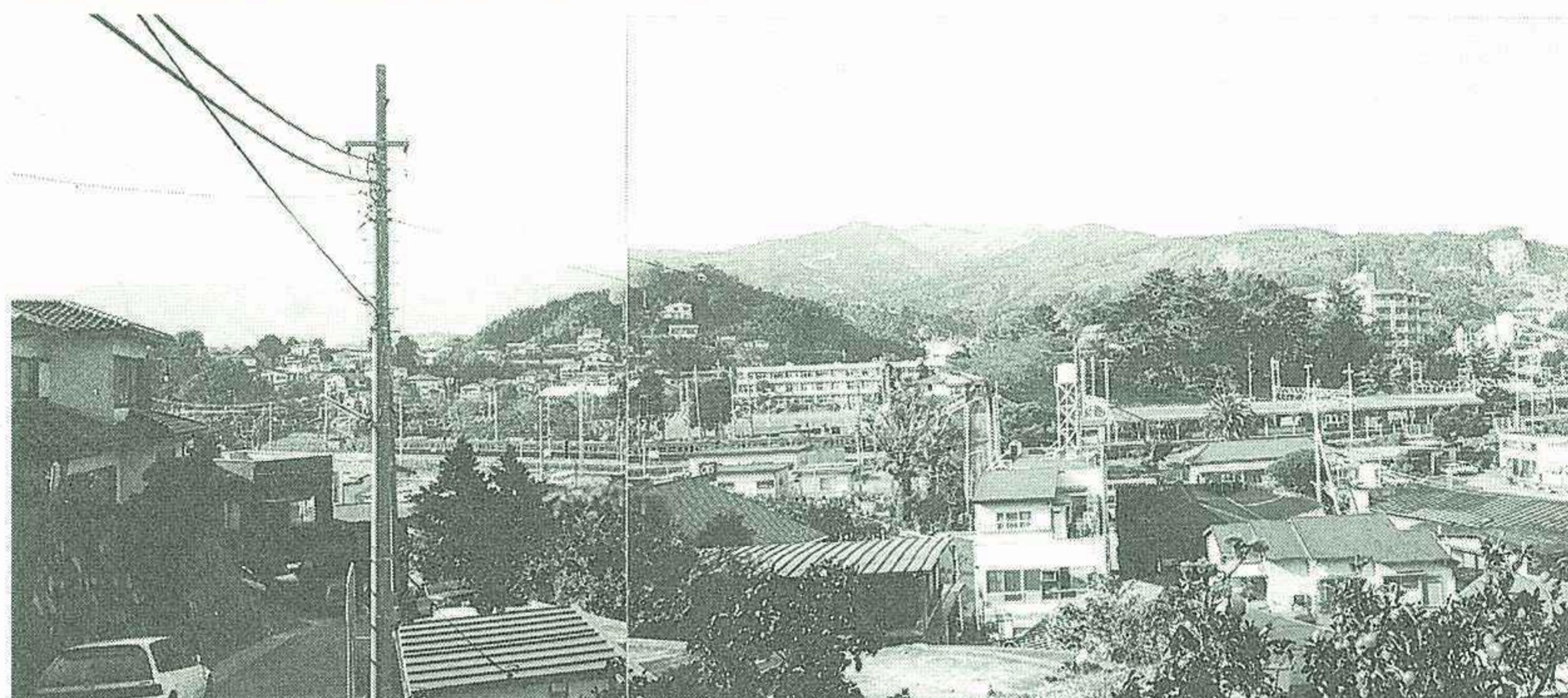
### ○見通し

真鶴の「格づけ」になる一つに「見通し」があげられる。  
「眺める所」から見えるものが美しければ、人々の心は  
どんなに潤うことだろう。

#### ●格・大地の格、誇りを失わせていませんか？

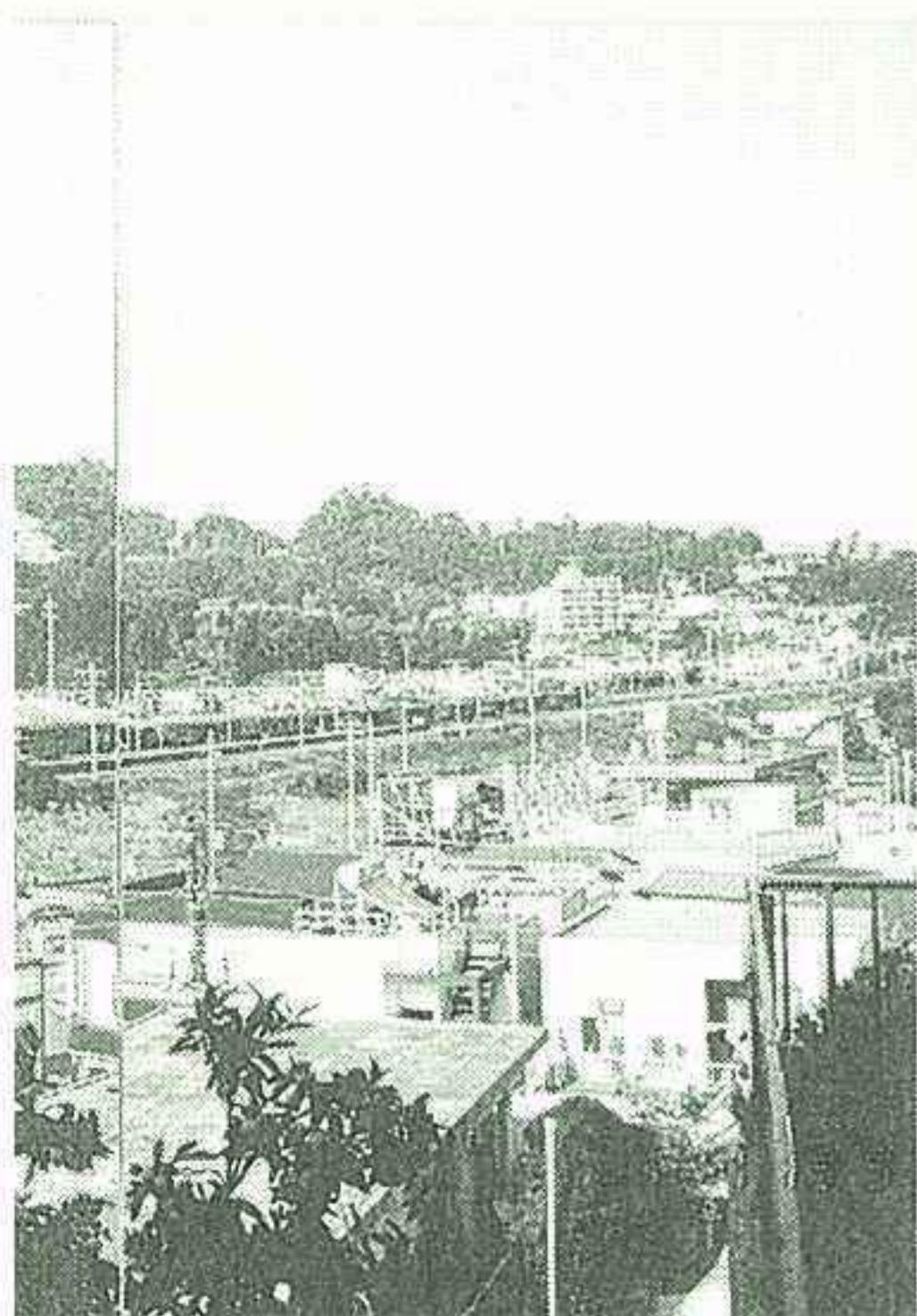
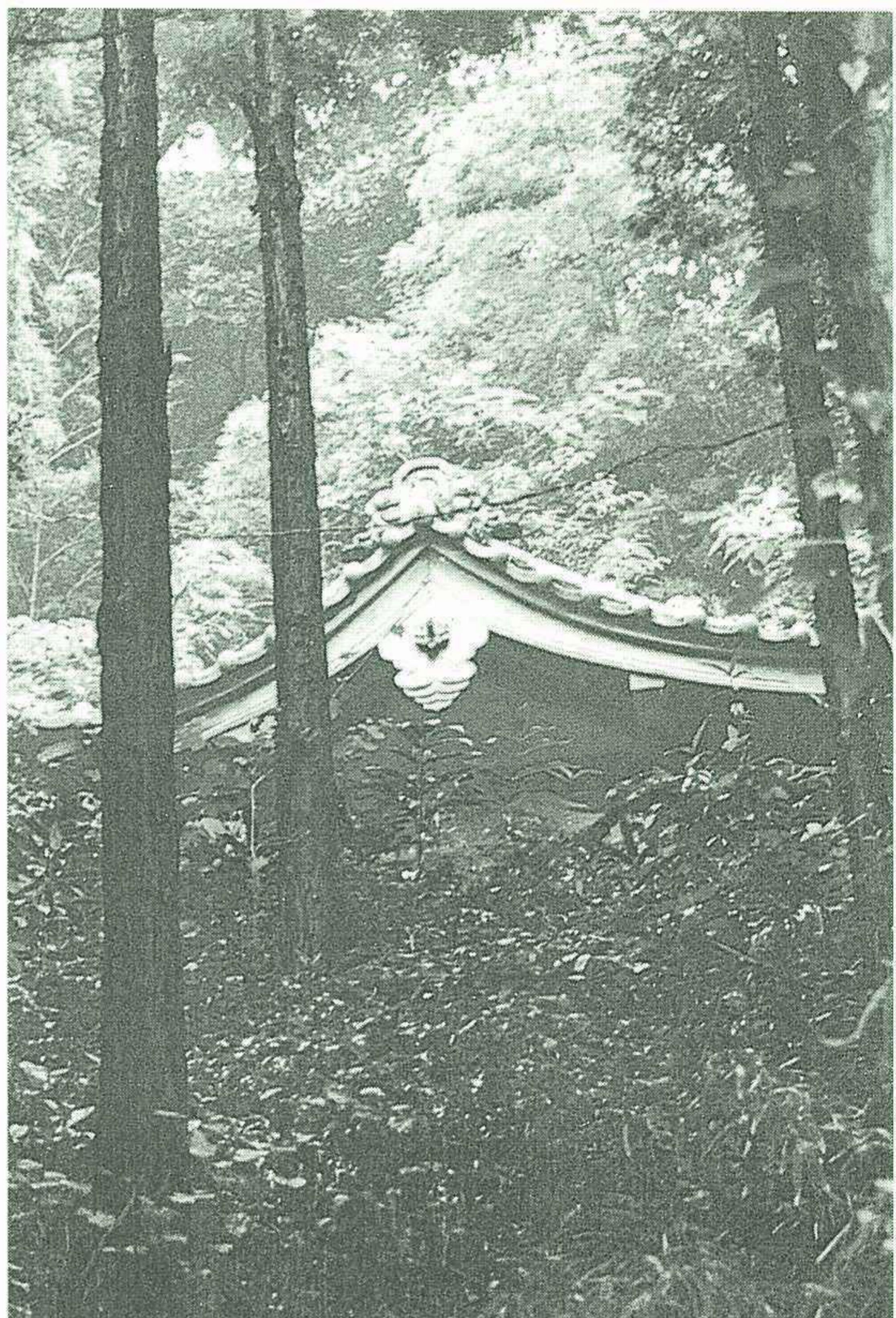
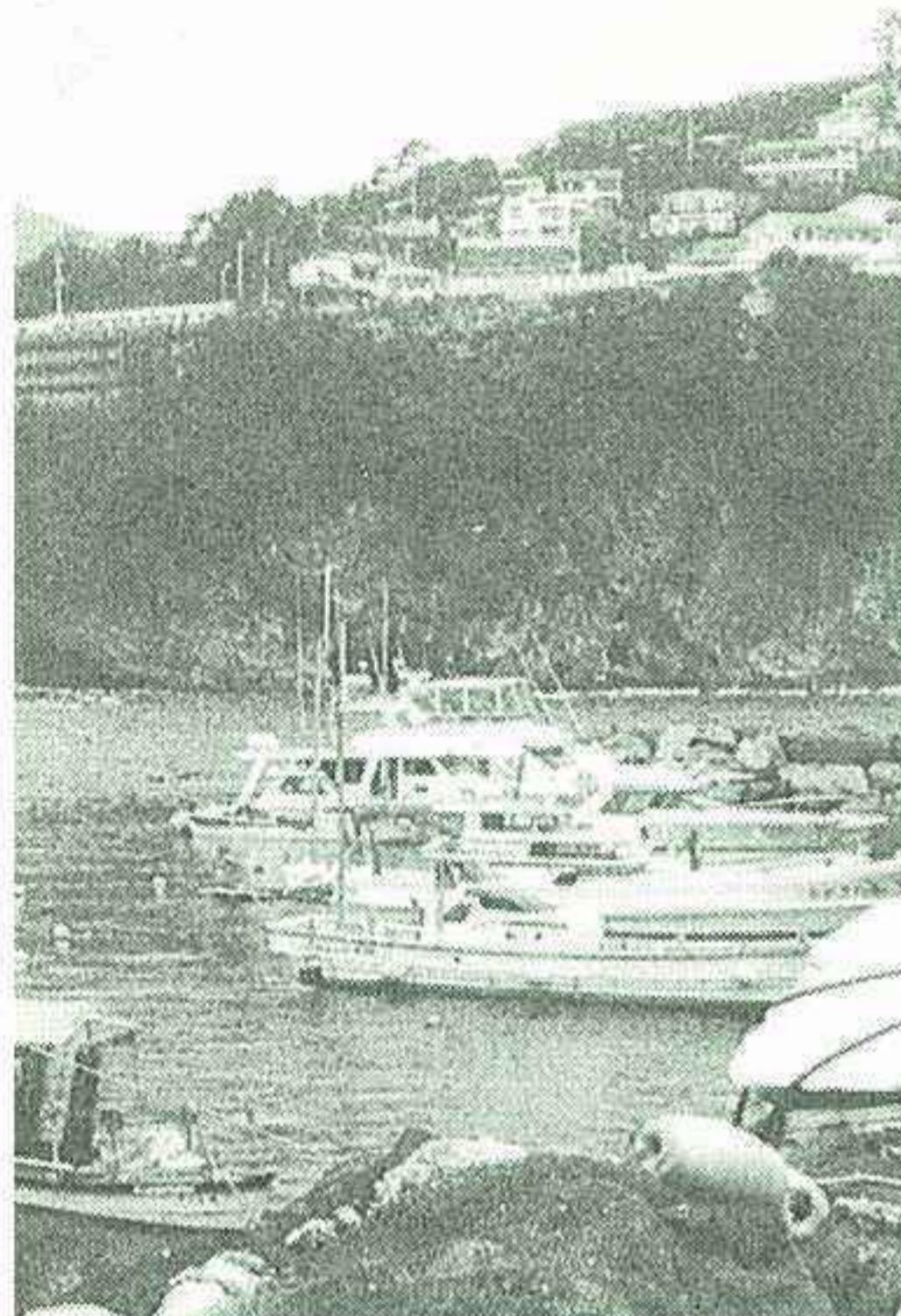


#### ●羞恥・見通されてはずかしくないですか？



景色の中に「格」を持つ建物である事を確認すること。

●樹木越しに見通す格



## キーワード

## 前提条件

### ○大きな門口

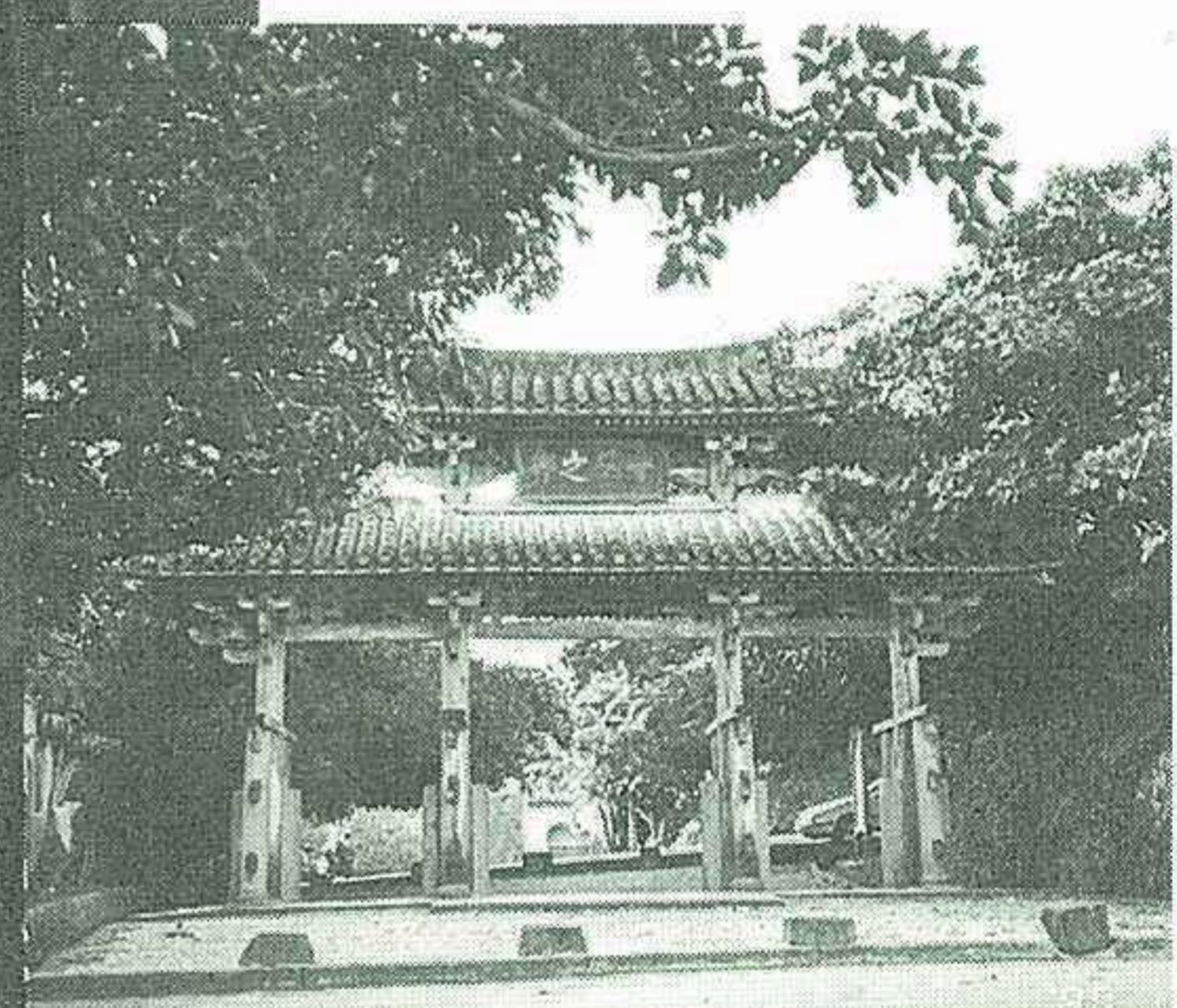
町の中で、何らかの専門区域として識別されるべき部分は、大小に拘らず、通路が境界を横切る地点を門口で明示すればその区域は強調され、独自性を増しより鮮明になろう。

真鶴町もより鮮明に識別されるべき幾つかの区域が存在すると思われる。

- 大きな門口は町の独自性を明確にする



●守礼門



## 解 決 法

建物群、近隣、区域など真鶴で重要な意味をもつ領域の境界を主要入路の境界横断点に大きな門口を設けて明示すること。

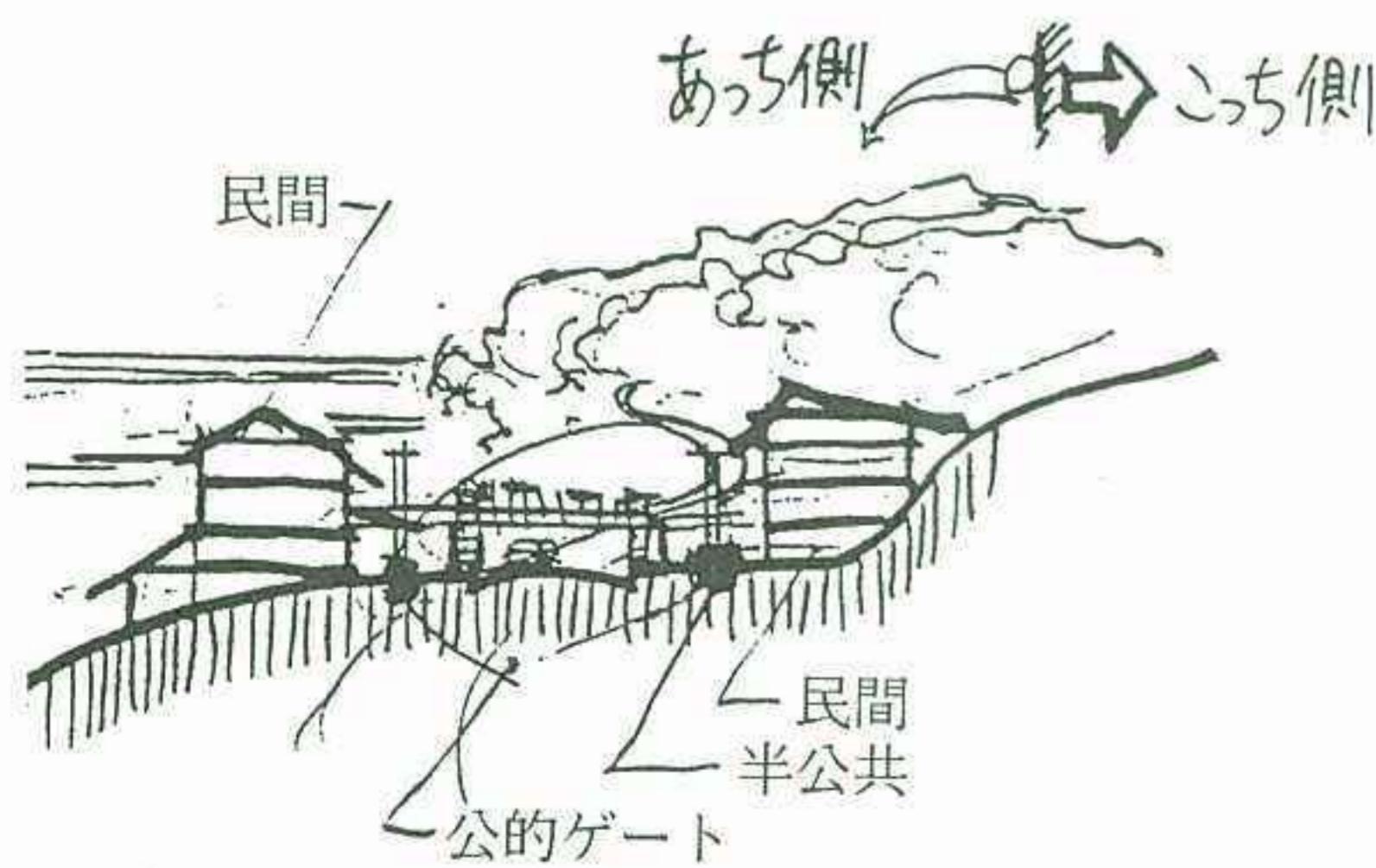
領域境界に建設される建築物は、町の領域の境界を表現する門口、マークを建設すること。

- ゾーニング、既存計画と調整をはかりながら、真鶴駅→真鶴町入り口→生活の接点→大きな門口→聖域とつながりができる地点をマーキングしていくこと

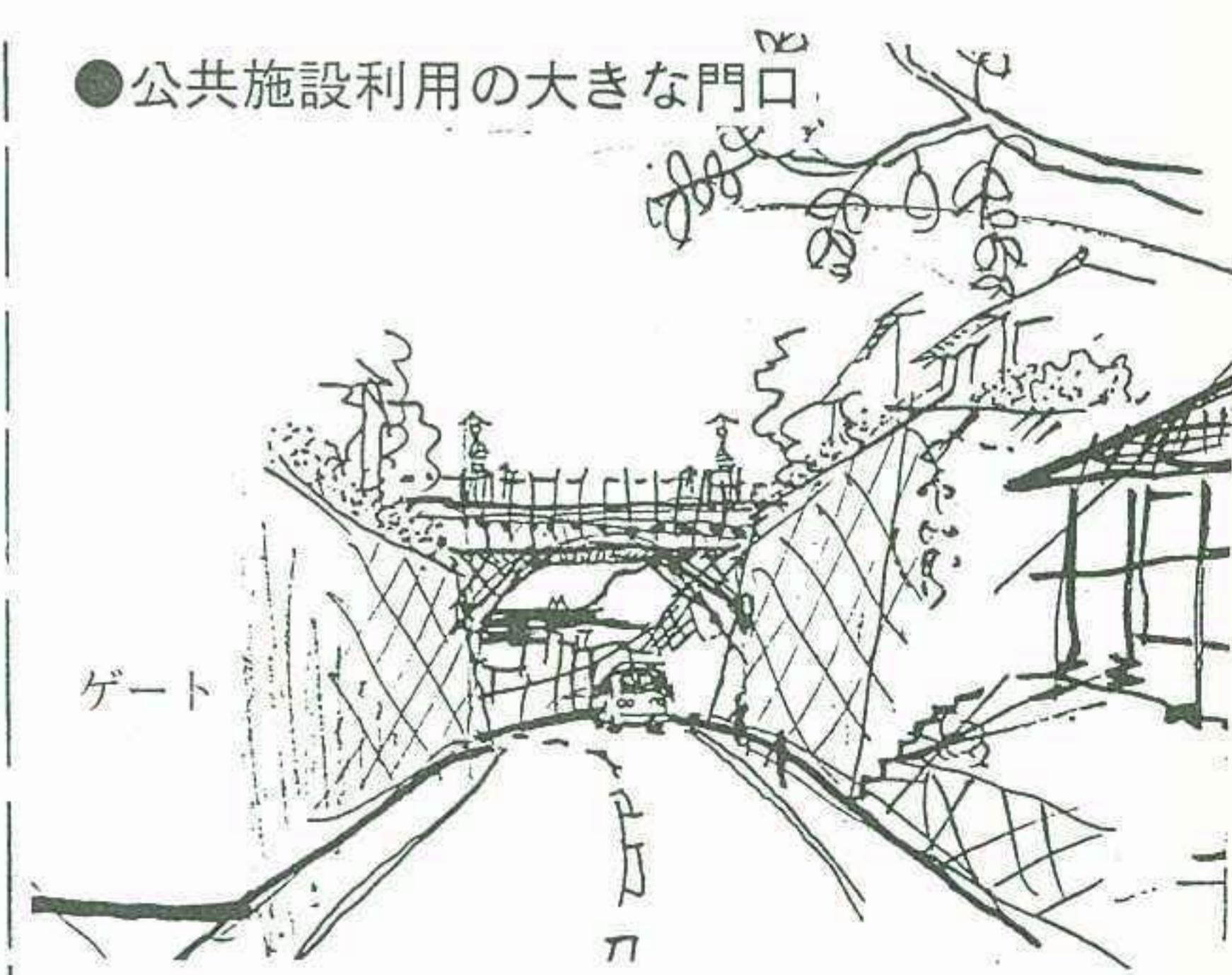
- ・何もない町の入口



- 官民協力型の大きな門口

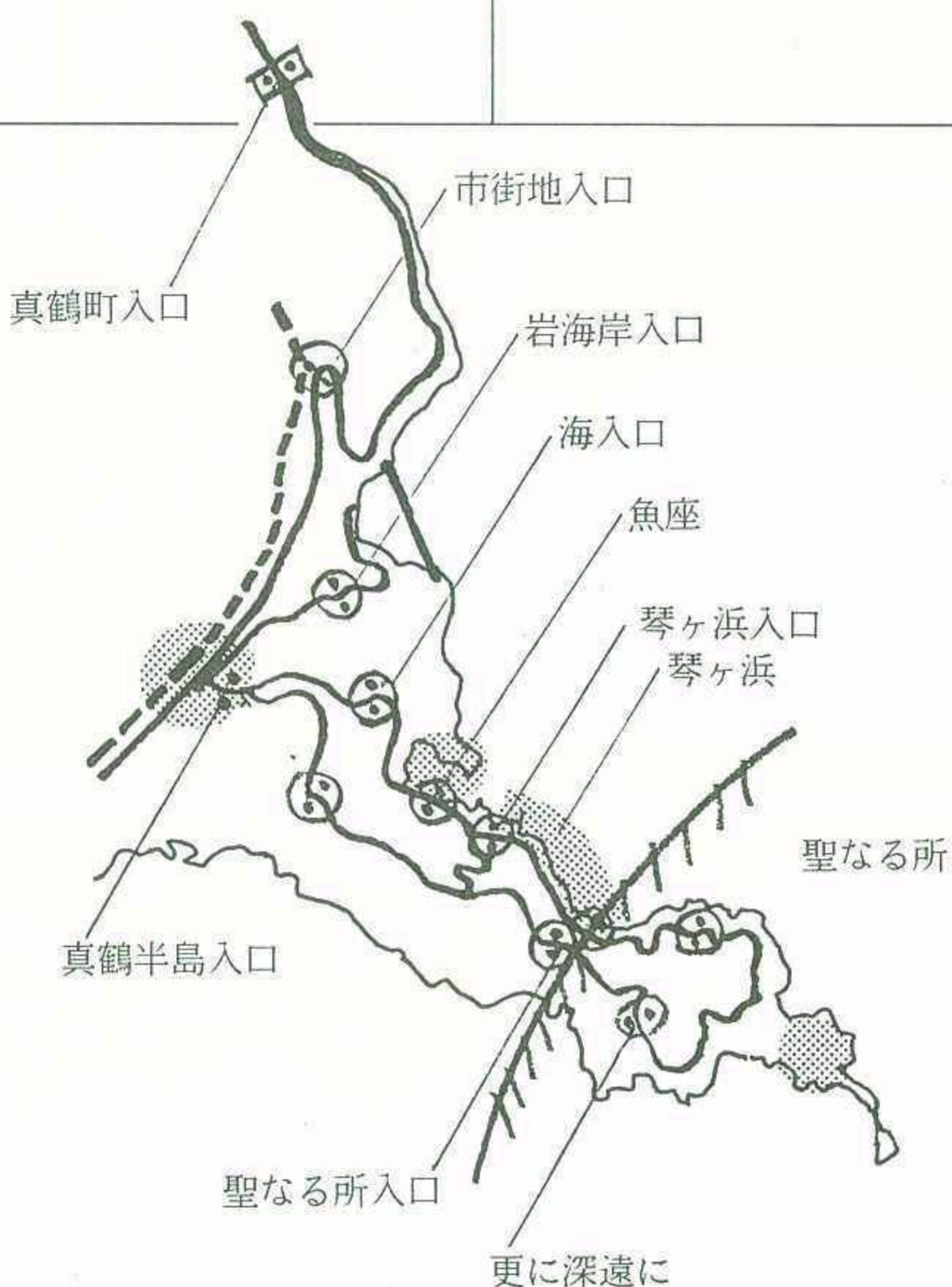


- 公共施設利用の大きな門口



## 課 題

- 明示すべき場所の確定



## キーワード

## 前提条件

### ○母屋

建物は中心がないと、おちつかない。

#### ●堂々たる母屋を持つ駅



#### ●このような小さい家も母屋をしつらえる



#### ●敷地の勾配に沿って流れる屋根と格を表現する母屋が美しい

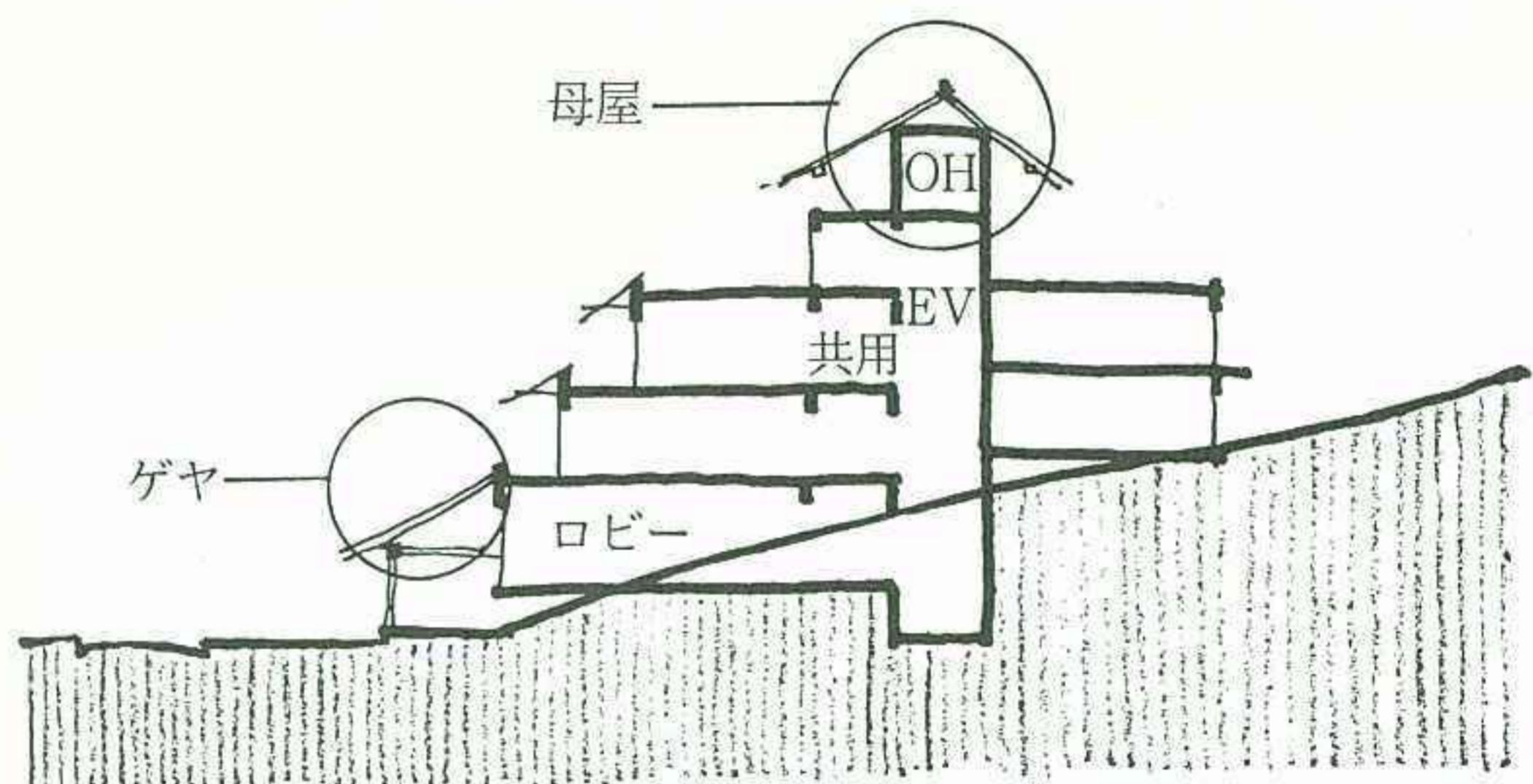


建物の一番重要な部分を決定し、この部分に大きく高い屋根を架け、母屋に仕立てること。

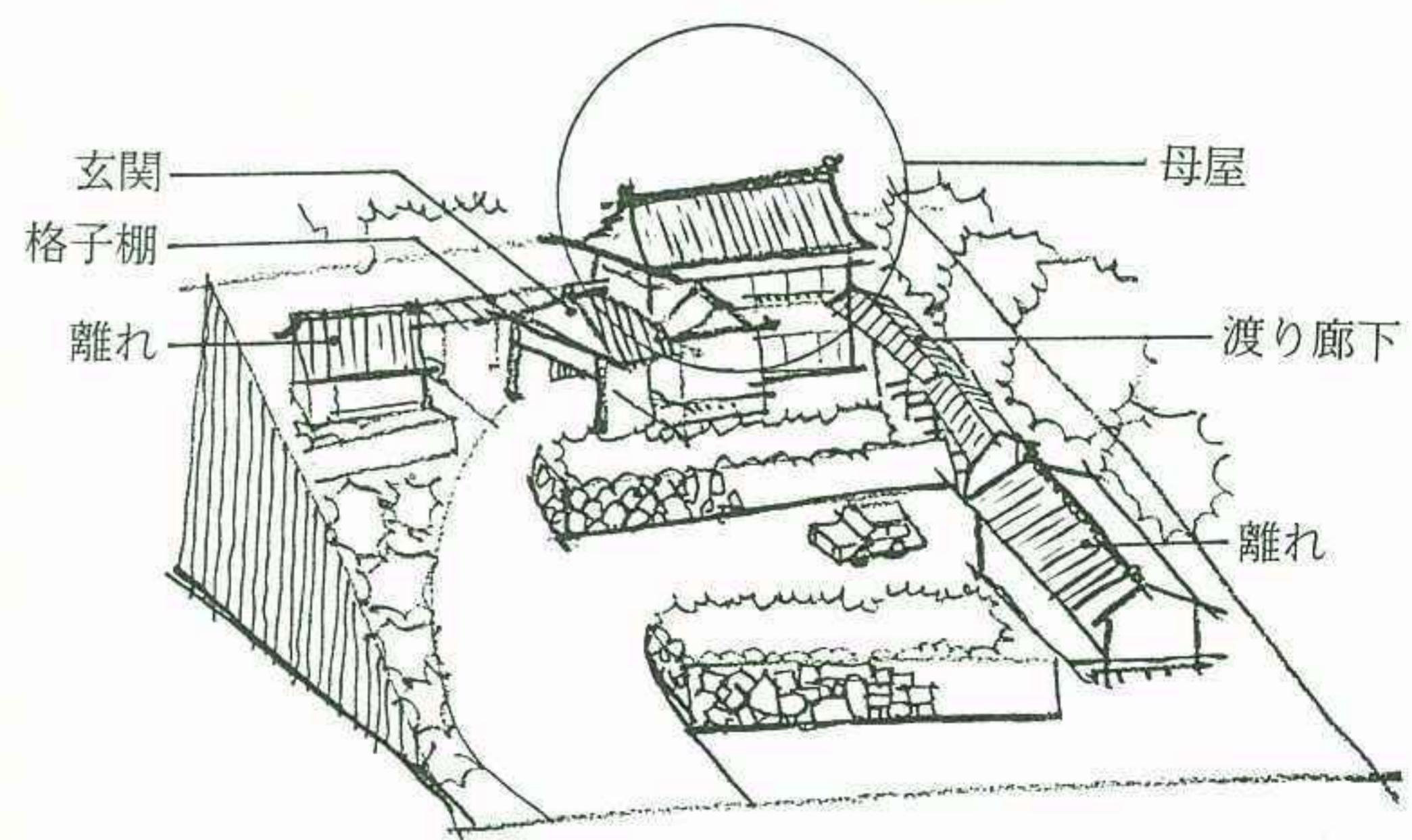
●母屋とゲヤで構成される  
真鶴町の民家



●ペントハウス等で  
母屋を形づくる例



●斜面の敷地全体を巧みに利用して  
母屋をしつらえた例



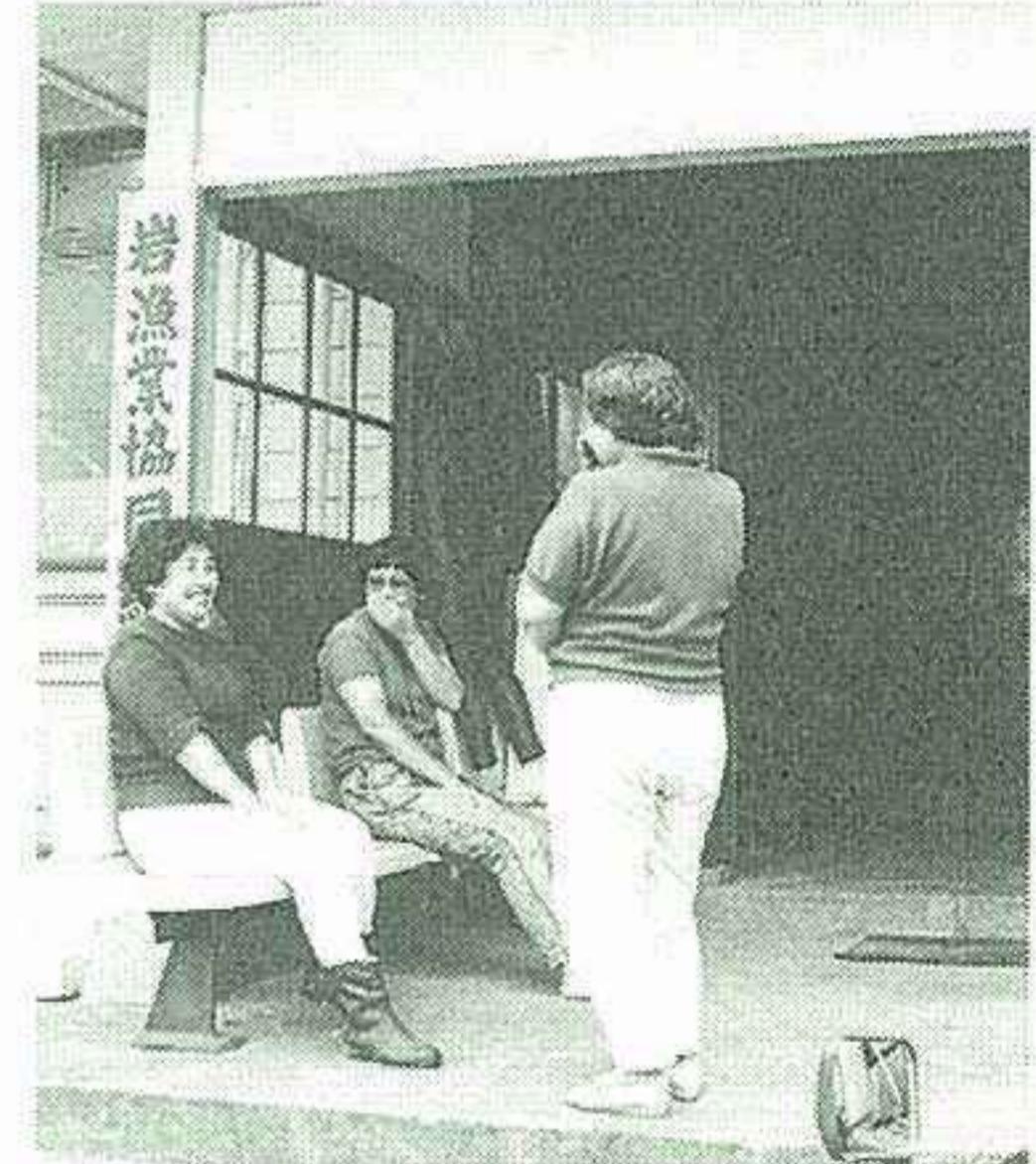
## キーワード

## 前提条件

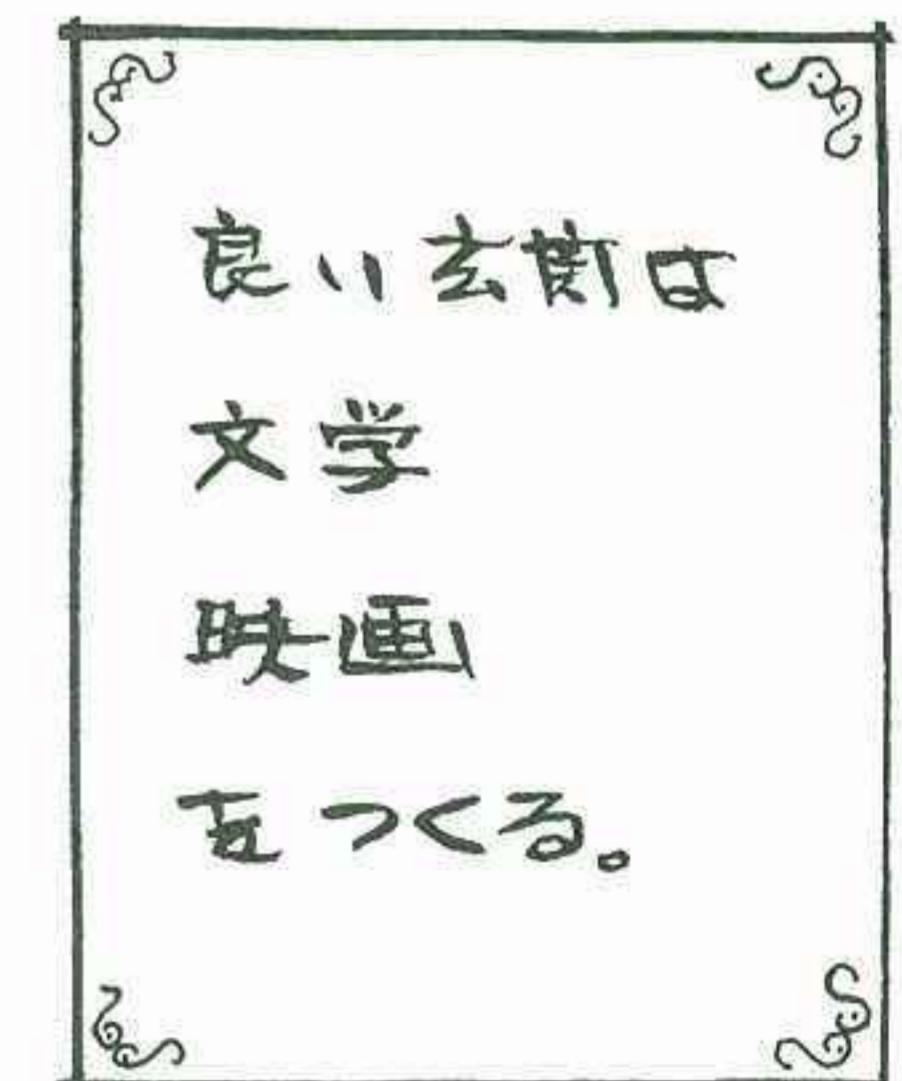
門・玄関を良い位置に、良い型で置く事は、道を歩く眺めにとっても重要な要素である。

### ○門・玄関

- 岩漁協の玄関、この程よい大きさと、格、そして海を見渡す位置が良好な人だまりを作っている。



- 小さな宿、この玄関の格が文学作品や映画の舞台にもなる



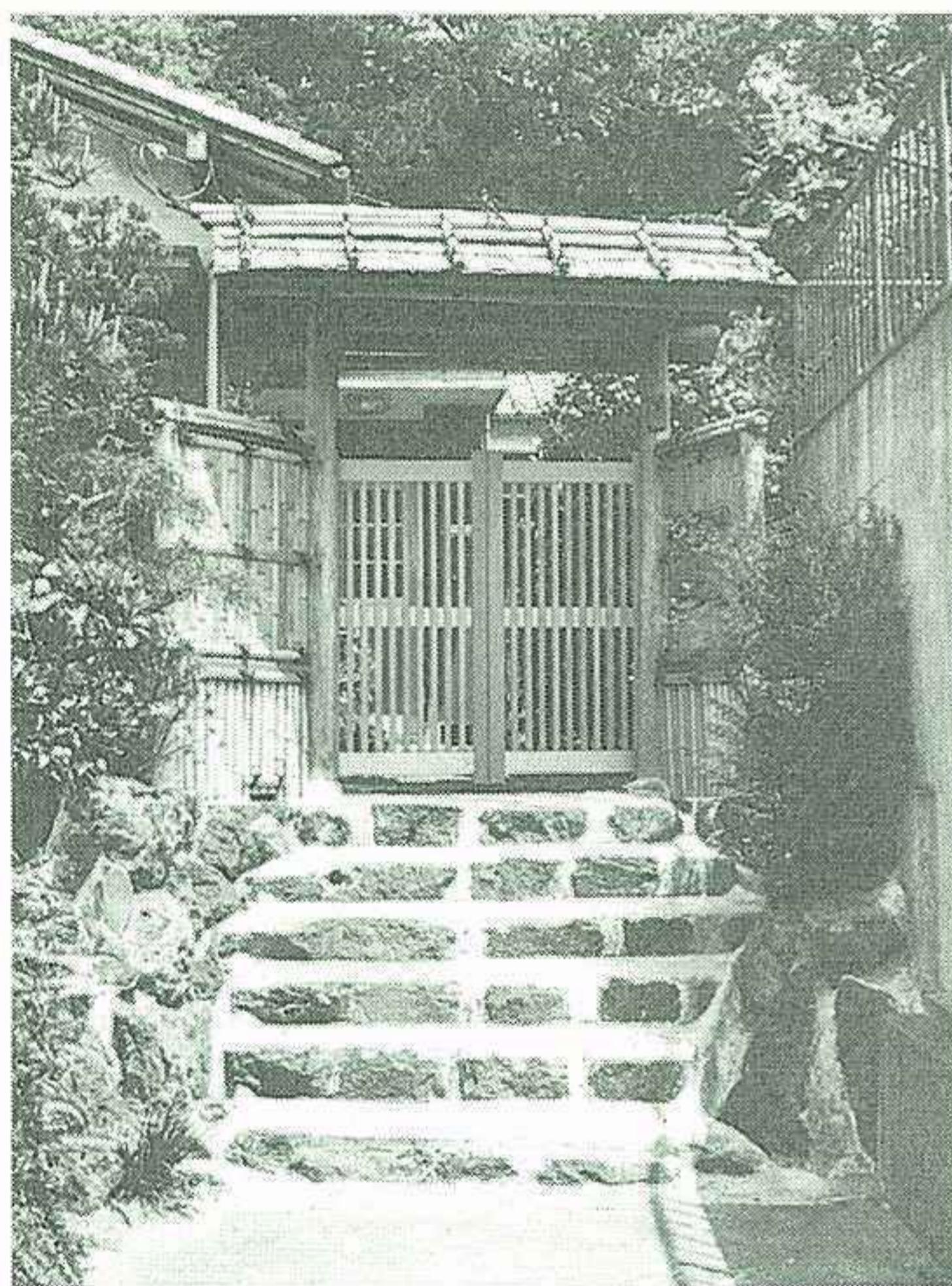
## 解 決 法

## 課 題

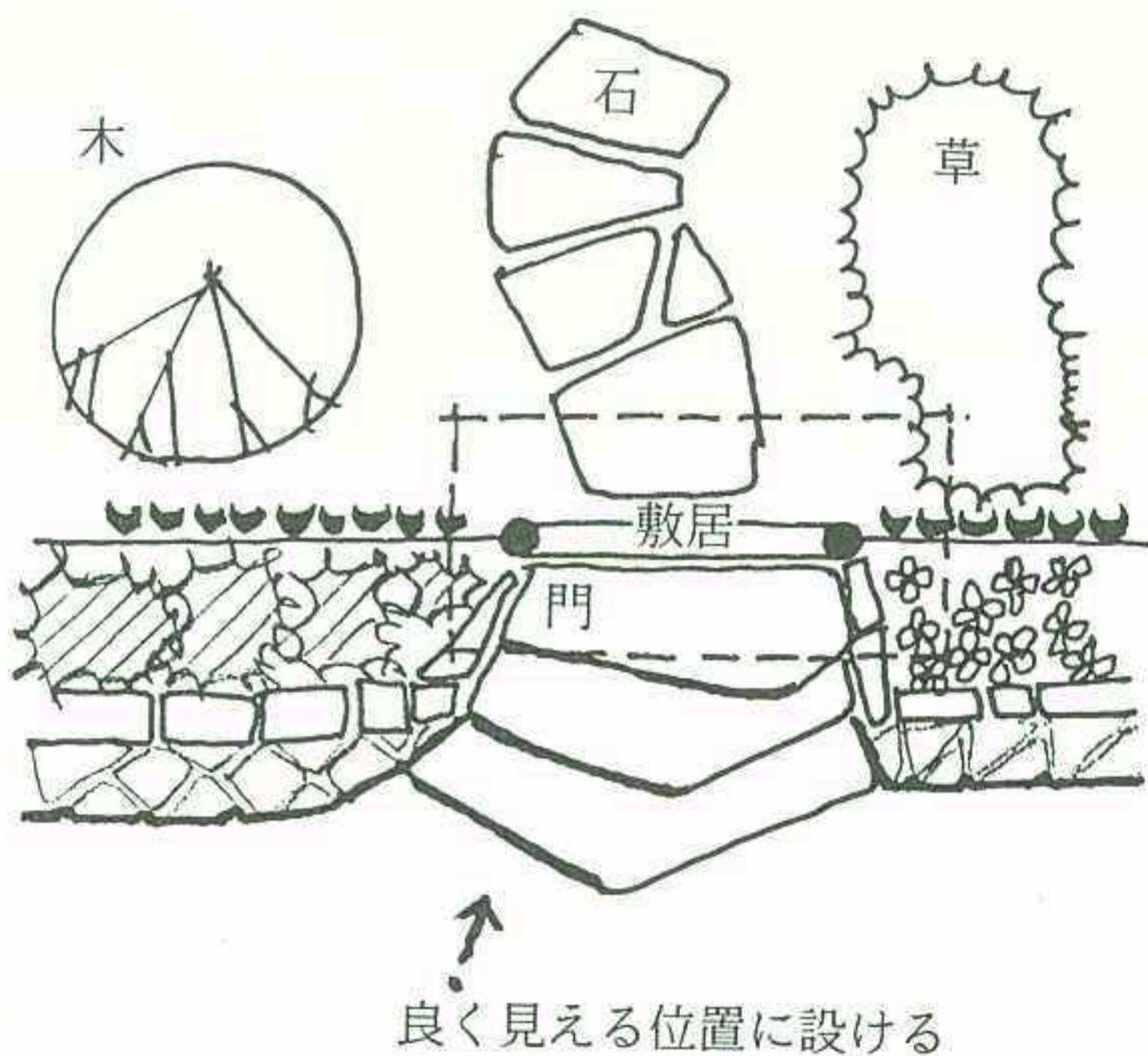
建物や敷地の門、玄関は接近する道路から見えやすい位置につくること。

門や玄関に、材料、自然などを取り込み、真鶴町を表現すること。

### ●自然の材料を生かしている門



●どんなに質素でも良い、門、玄関をできる限り自然の材料を利用して、しつらえること。



### ●門のしつらえが真鶴町と自然に調和し、建物に格を与えている

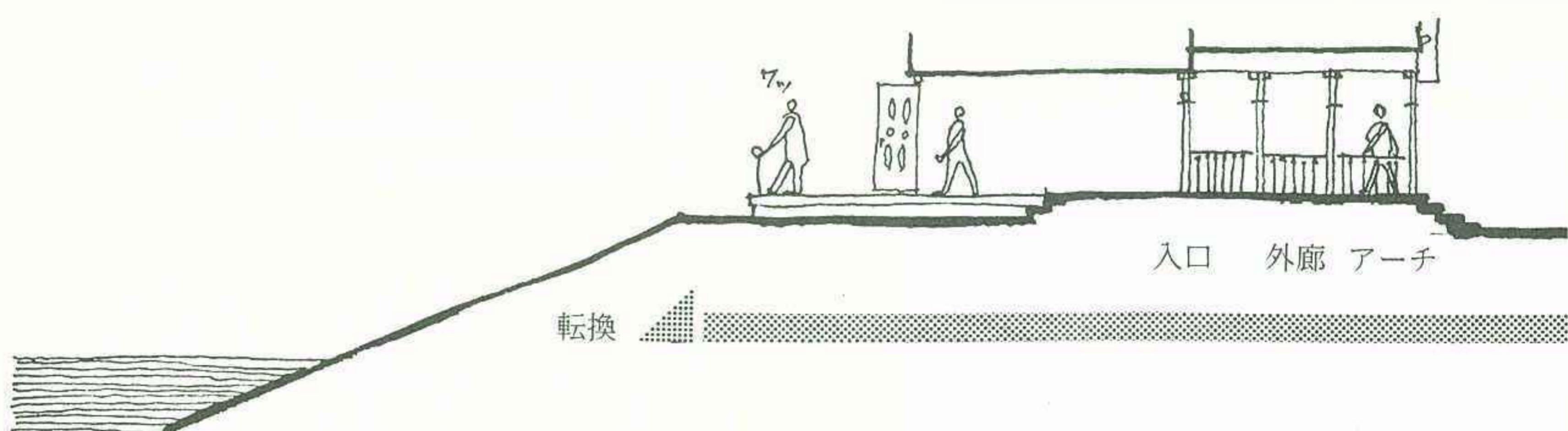


## キーワード

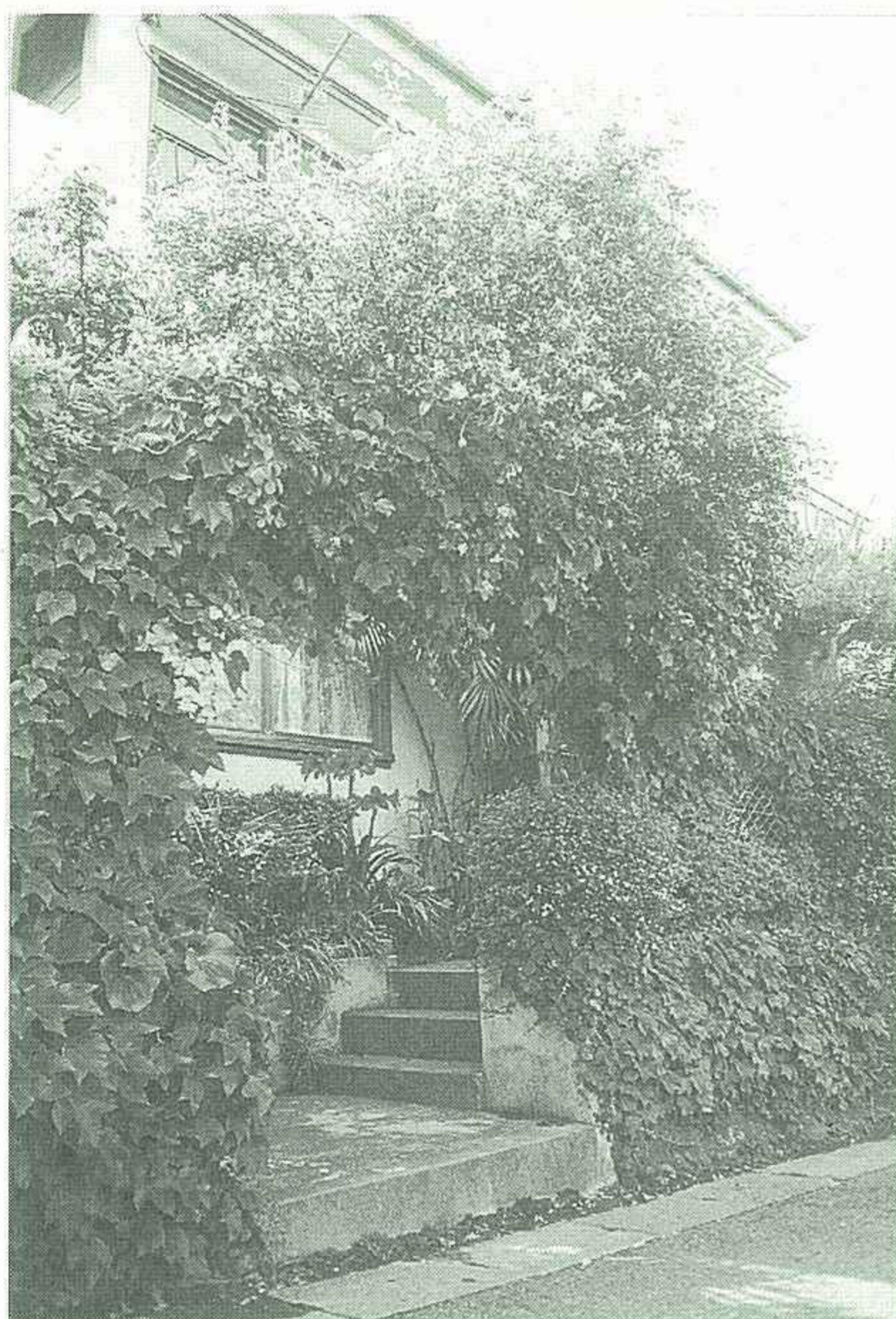
## 前提条件

### ○転換場所

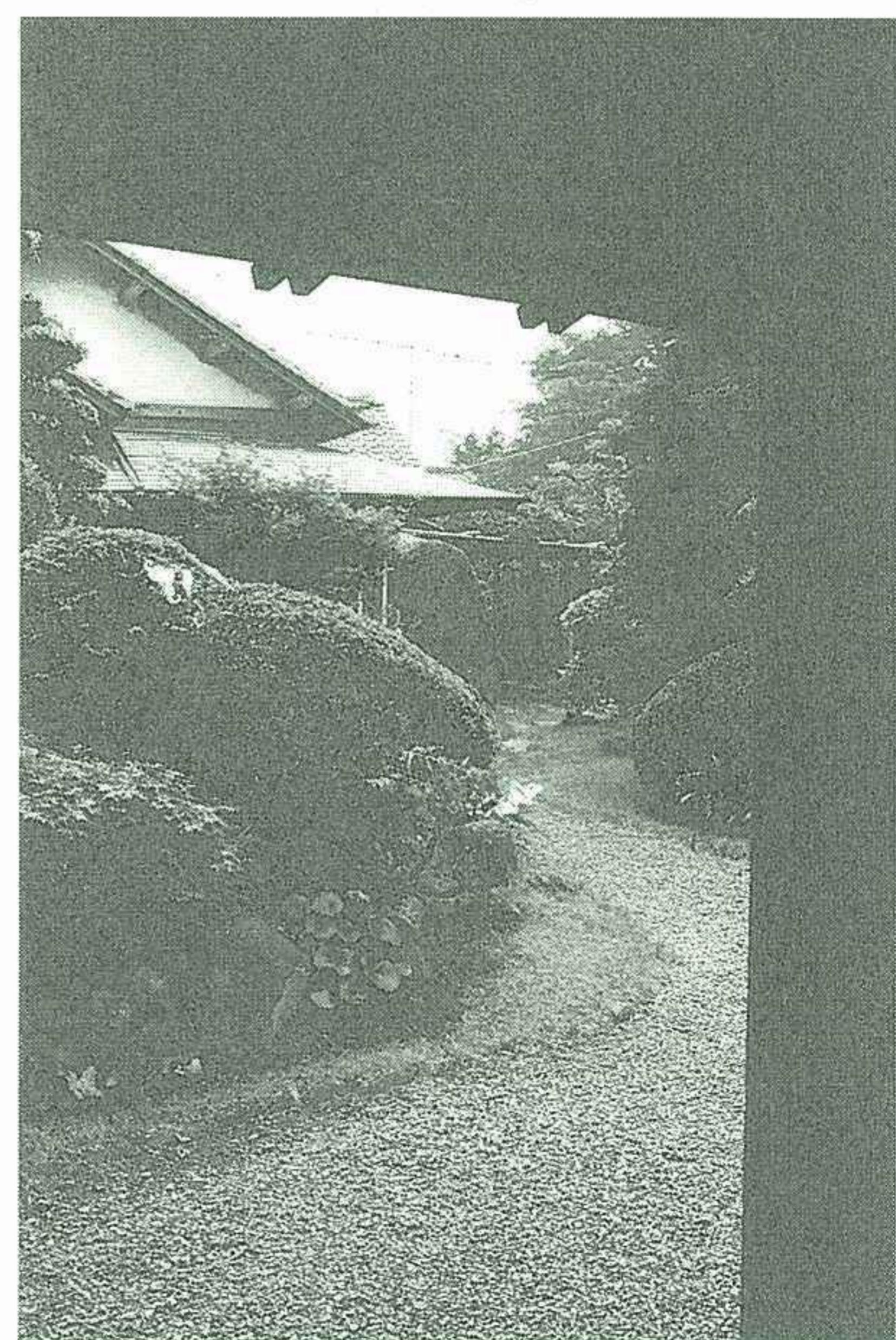
特に住宅は、街路に、じかに開いた建物より転換場所を持っている方が落ち着いた佇まいになる。



●ツル植物のゲートをくぐる



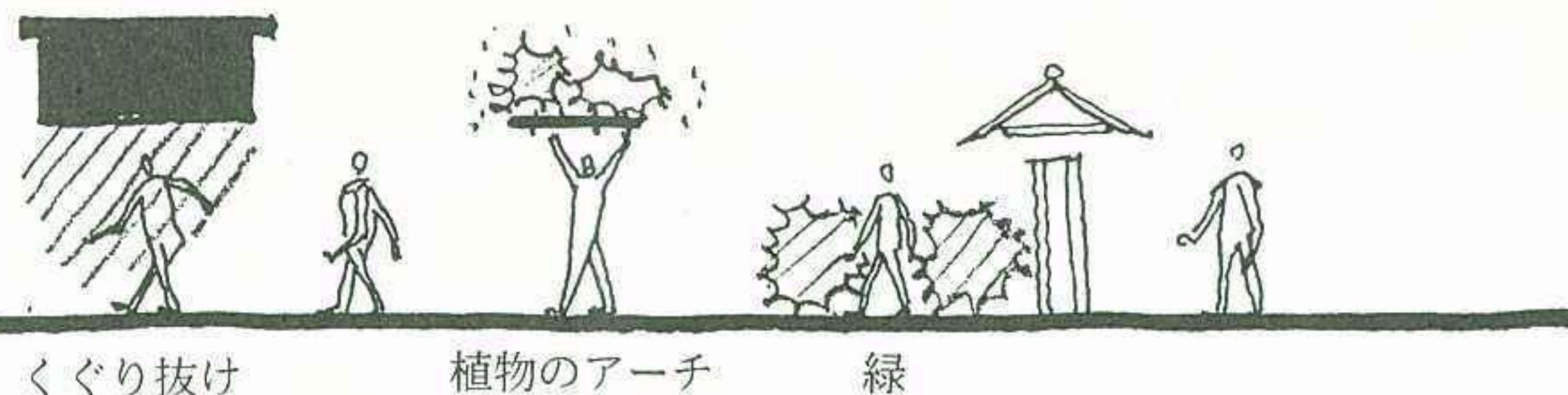
●曲りくねった道を進んで



## 解 決 法

街路と玄関ドアとのあいだに転換空間を設けること。街路から入口への通路は、この転換空間を通り抜けるようにすること。

## 課 題



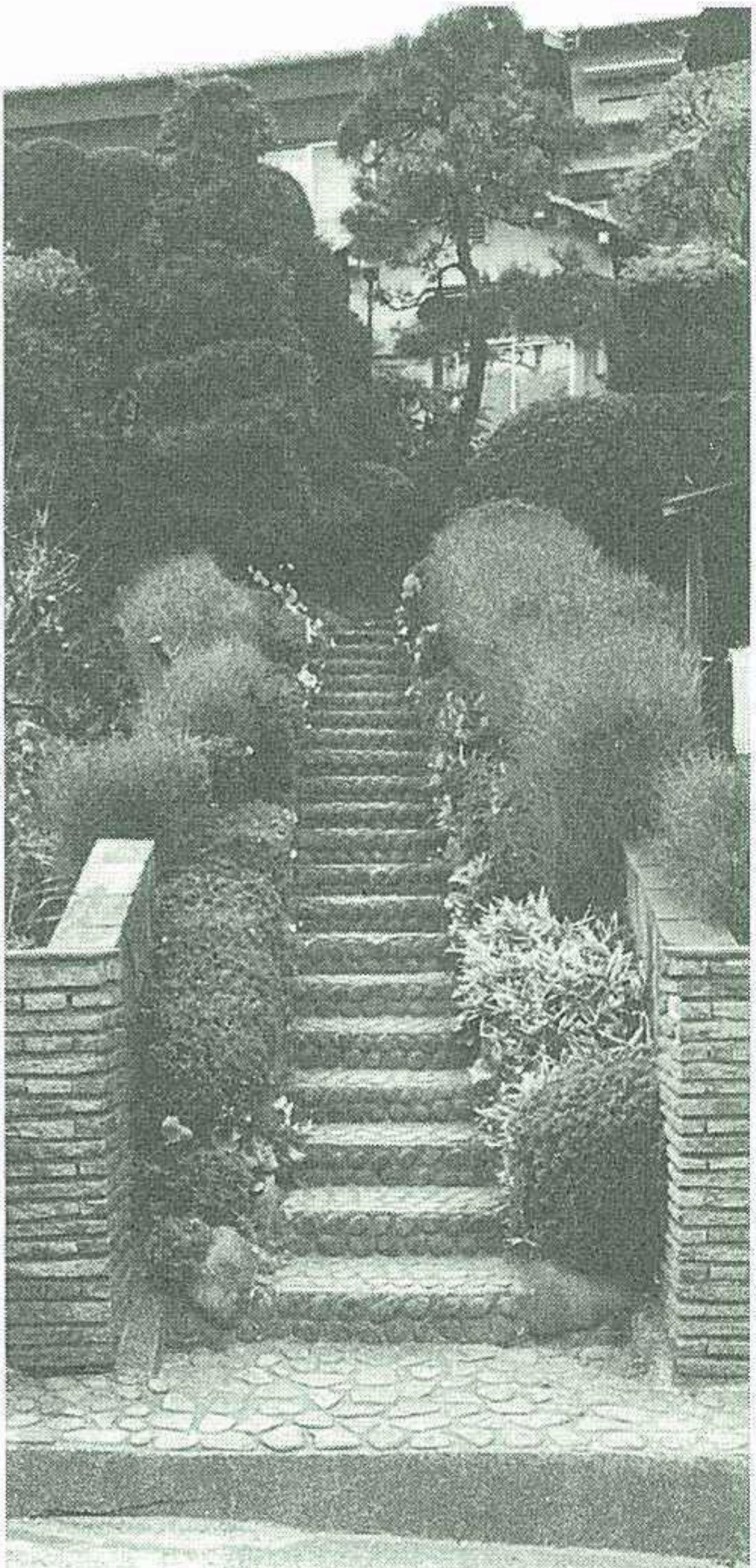
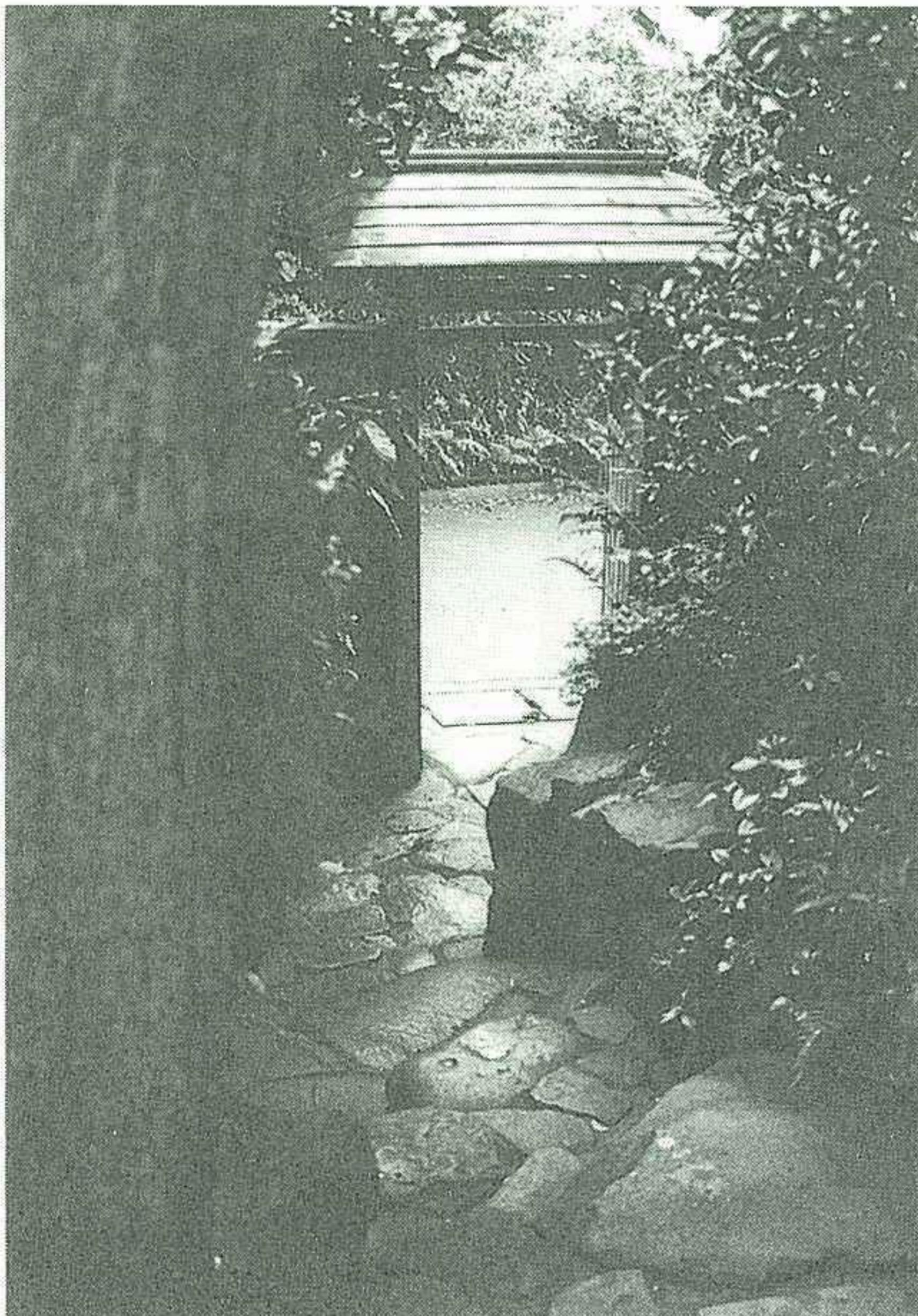
くぐり抜け

植物のアーチ

縁

● 縁に囲まれた美しい石段を登って

● 山門、石段、植物

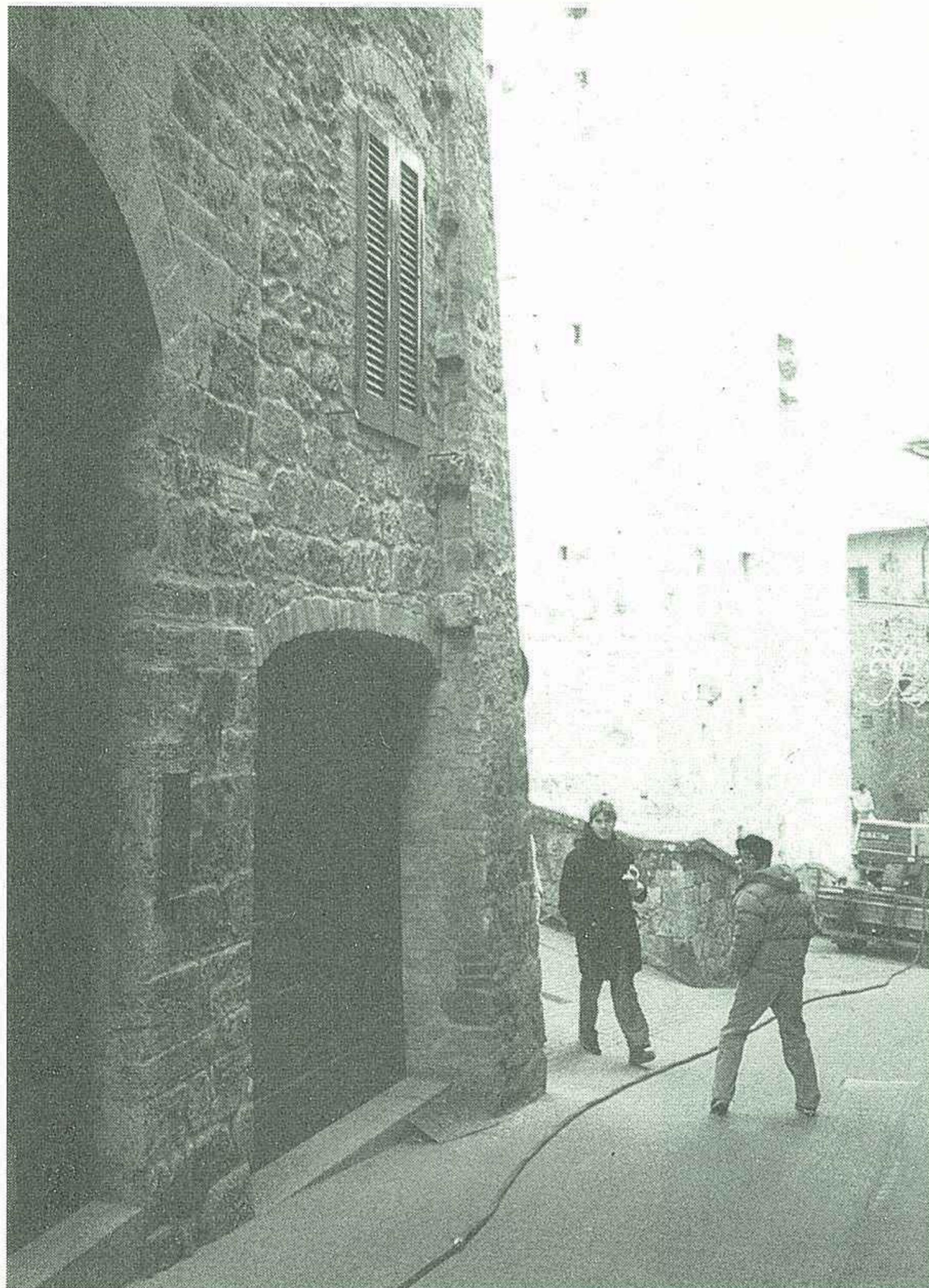


## キーワード

## 前提条件

### ○建物の縁

現代の建築物の外壁は人を拒絶する様につくられていることが多い。  
これらの表情が町や街路を無味なものとしている。

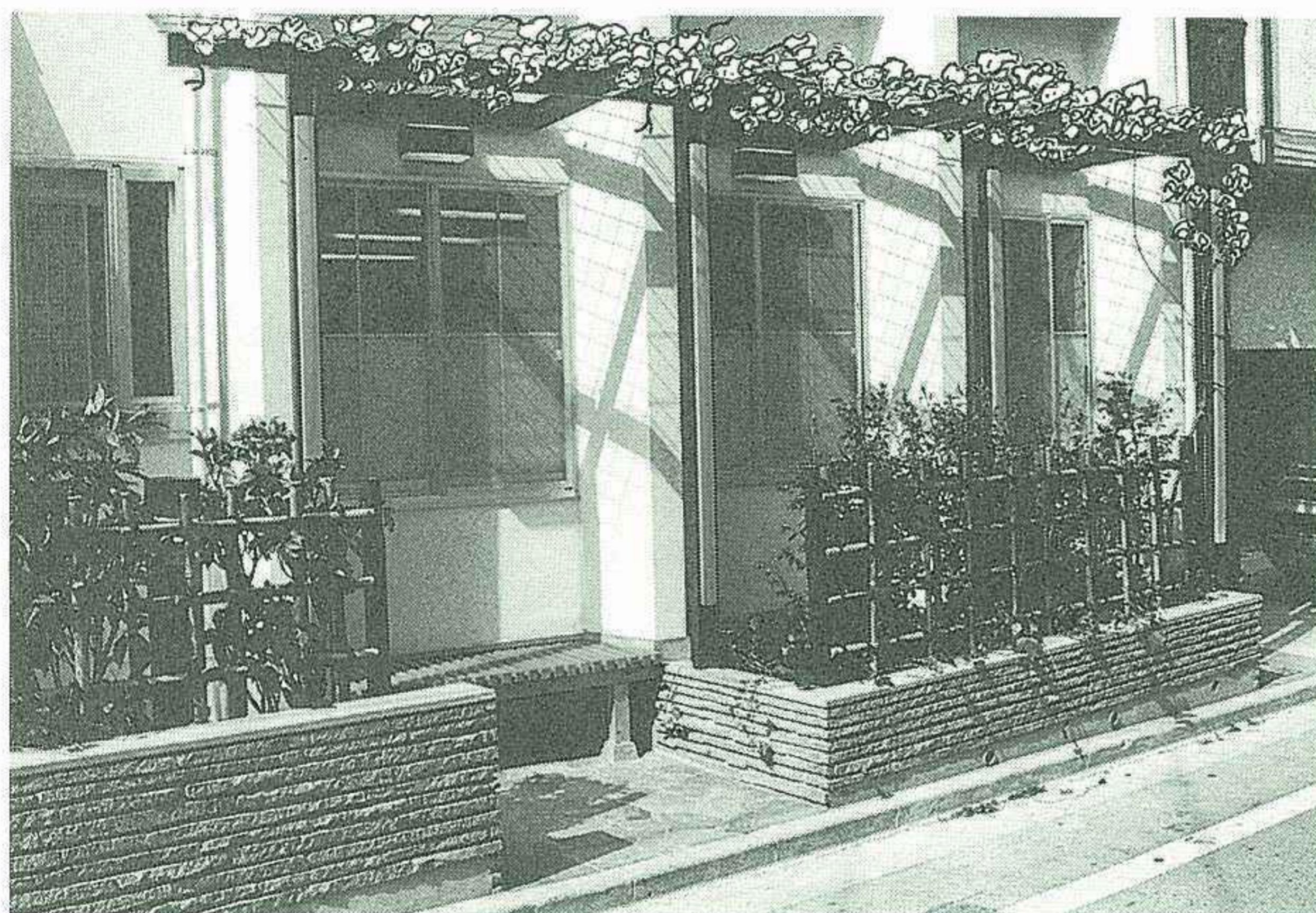


●何世紀にもわたる建築の補修によりつくられた柔らかいエッジをもつヨーロッパの町の道、建築の外壁自体が道の良好な縁を形成している。

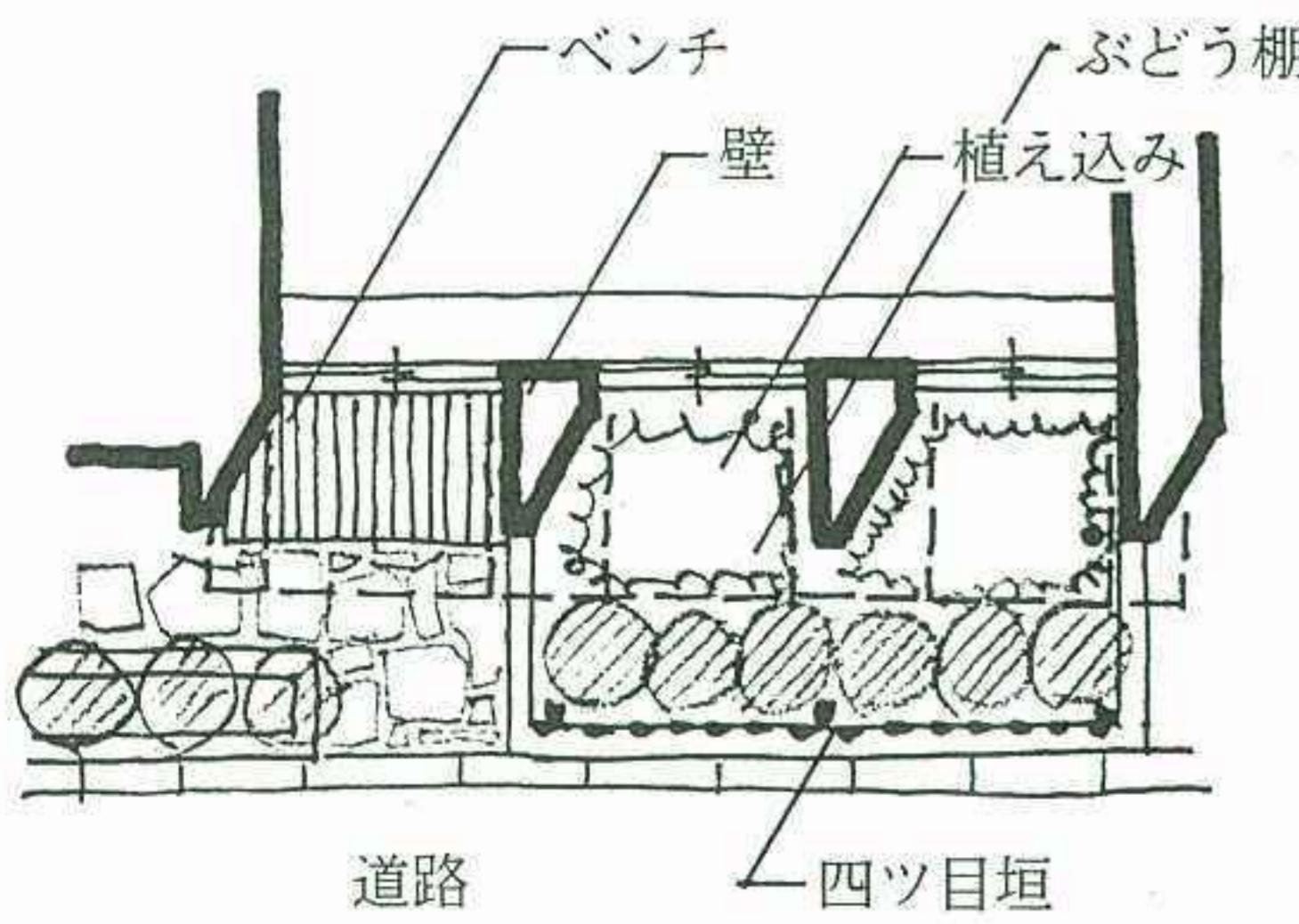
日本においては風土、建築材料の違いからこのような縁としての外壁は発達して来なかつたが、今日RC構造の普及とともに、壁の縁について考えることは大変重要な町の課題となってきた。

外壁を内と外との単なる仕切と考えず、外部に働きかけ  
る場所として考えること。近づく人を立ち止まらせたり、  
眺めたりする時の景観の一部として計画すること。

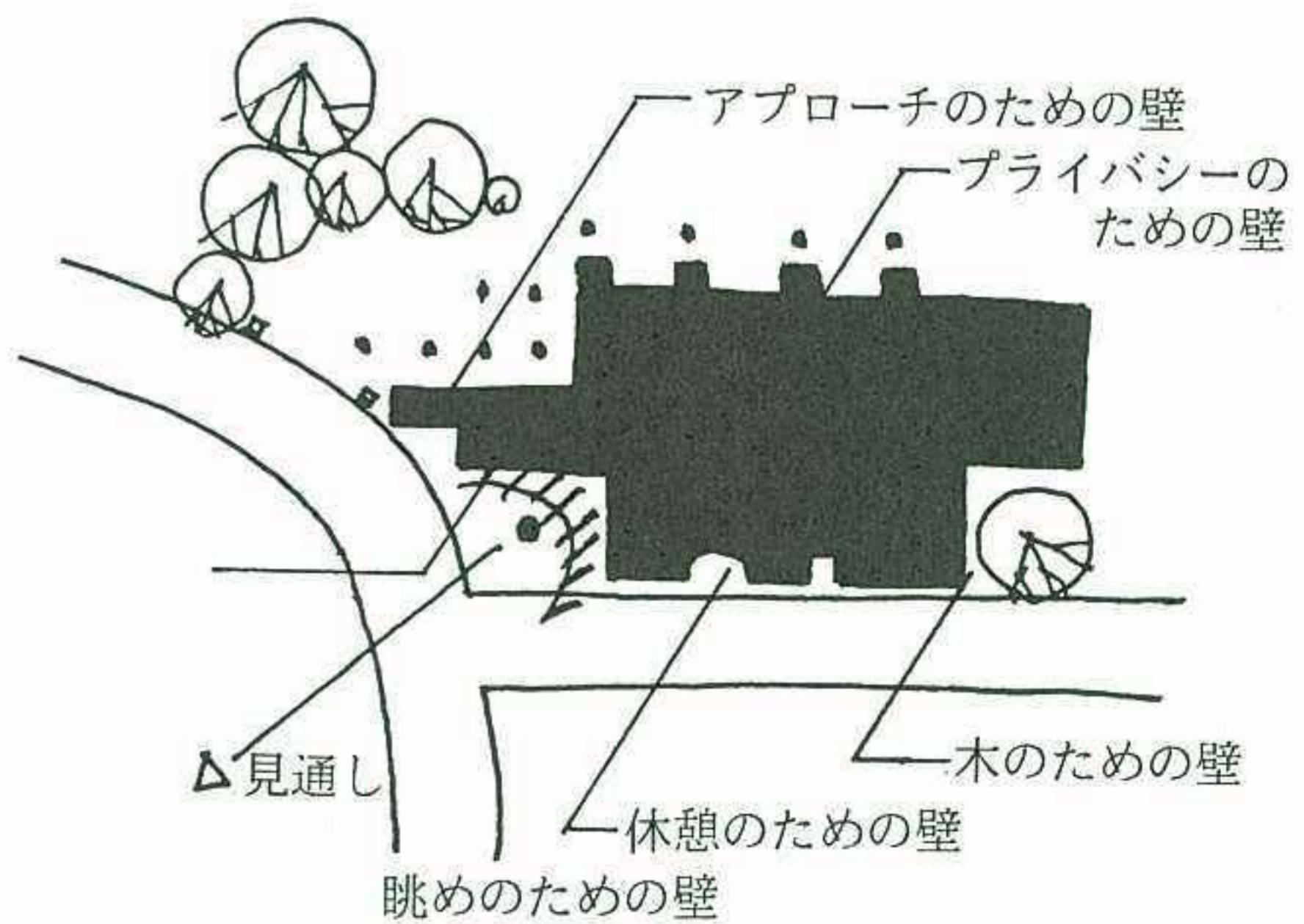
- 外壁に凹凸を持たせてベンチをしつらえている例、  
花壇、ぶどう棚などを付加し更に建物の縁を豊かにしている



- 平面



- 用途毎に壁の表情を作ること



## キーワード

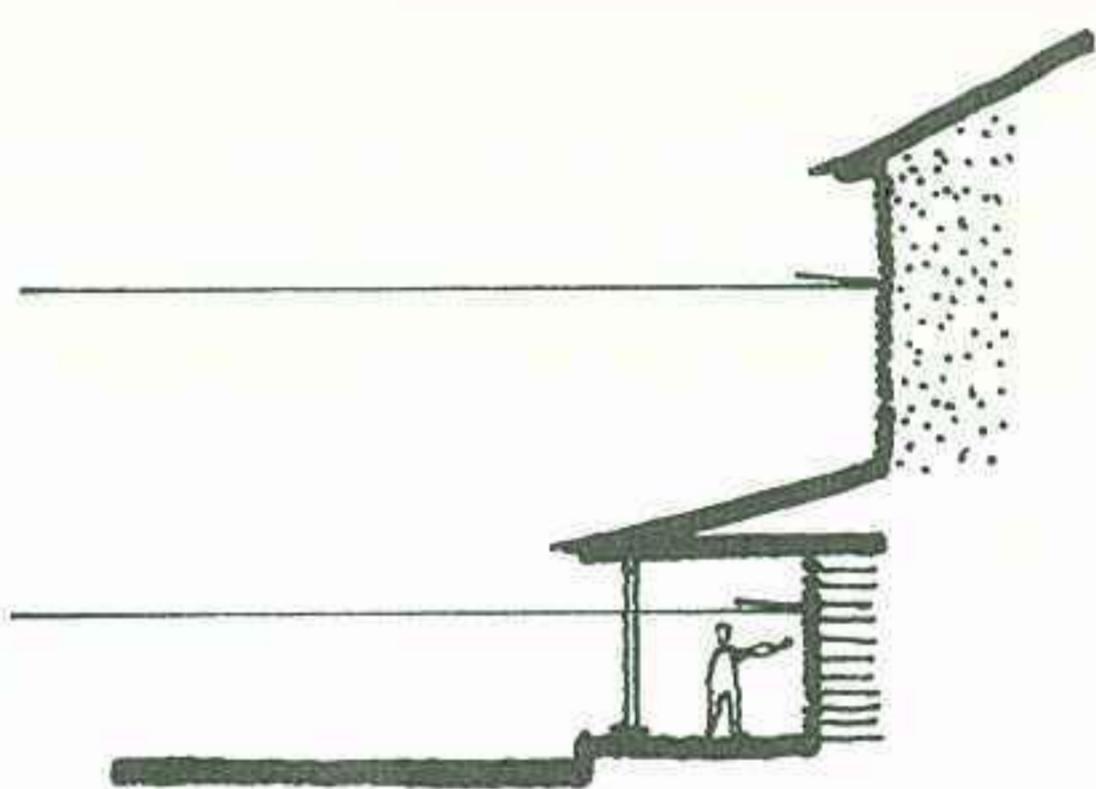
## 前提条件

### ○壁の感触

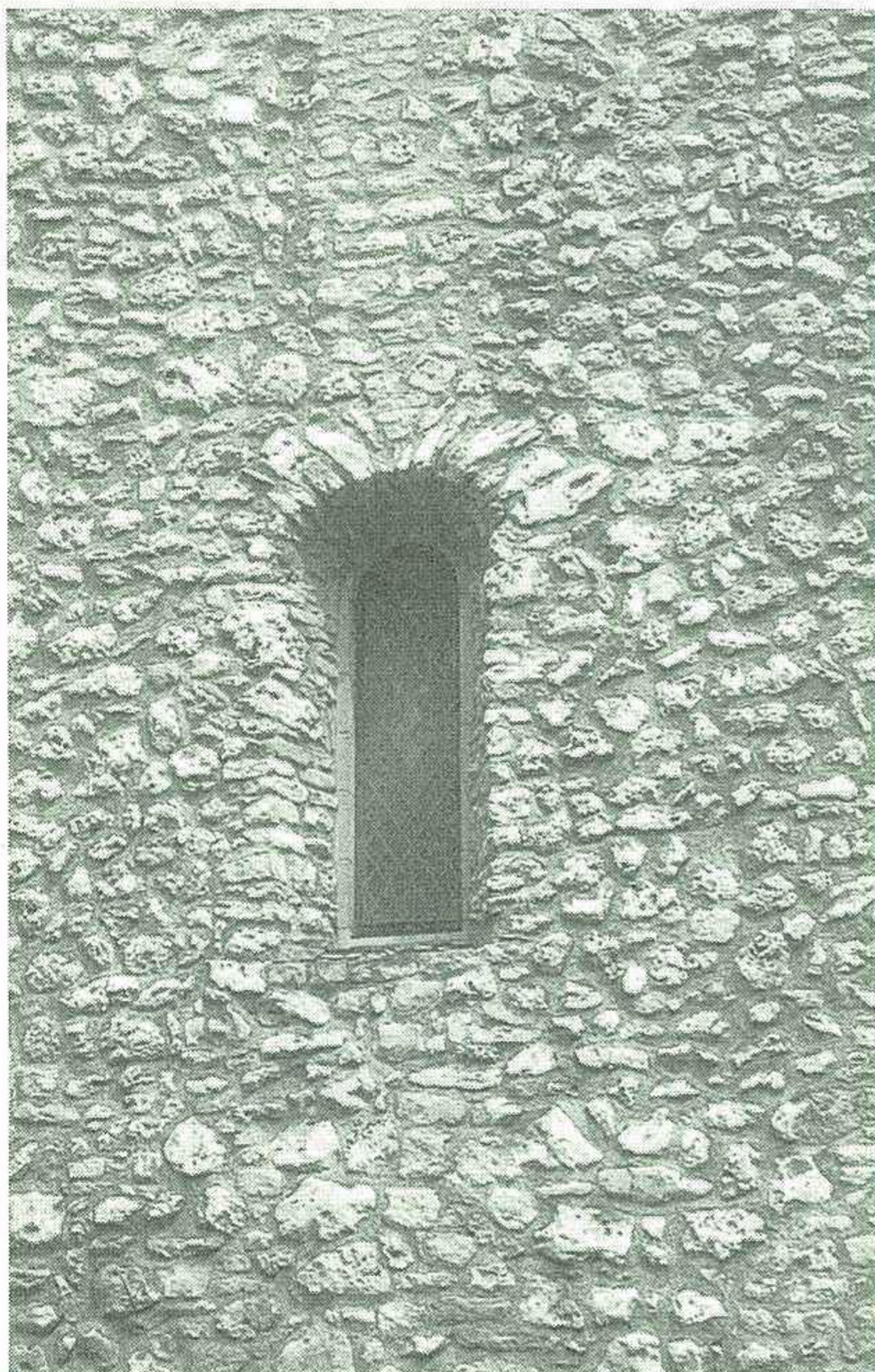
工場生産の羽目板、コンクリート板、石膏、鉄板、アルミ板、ガラス、大量生産されたタイルなどの平滑で硬い壁の建物は無性格になりやすい。

### ●特に人が触れる部分は……

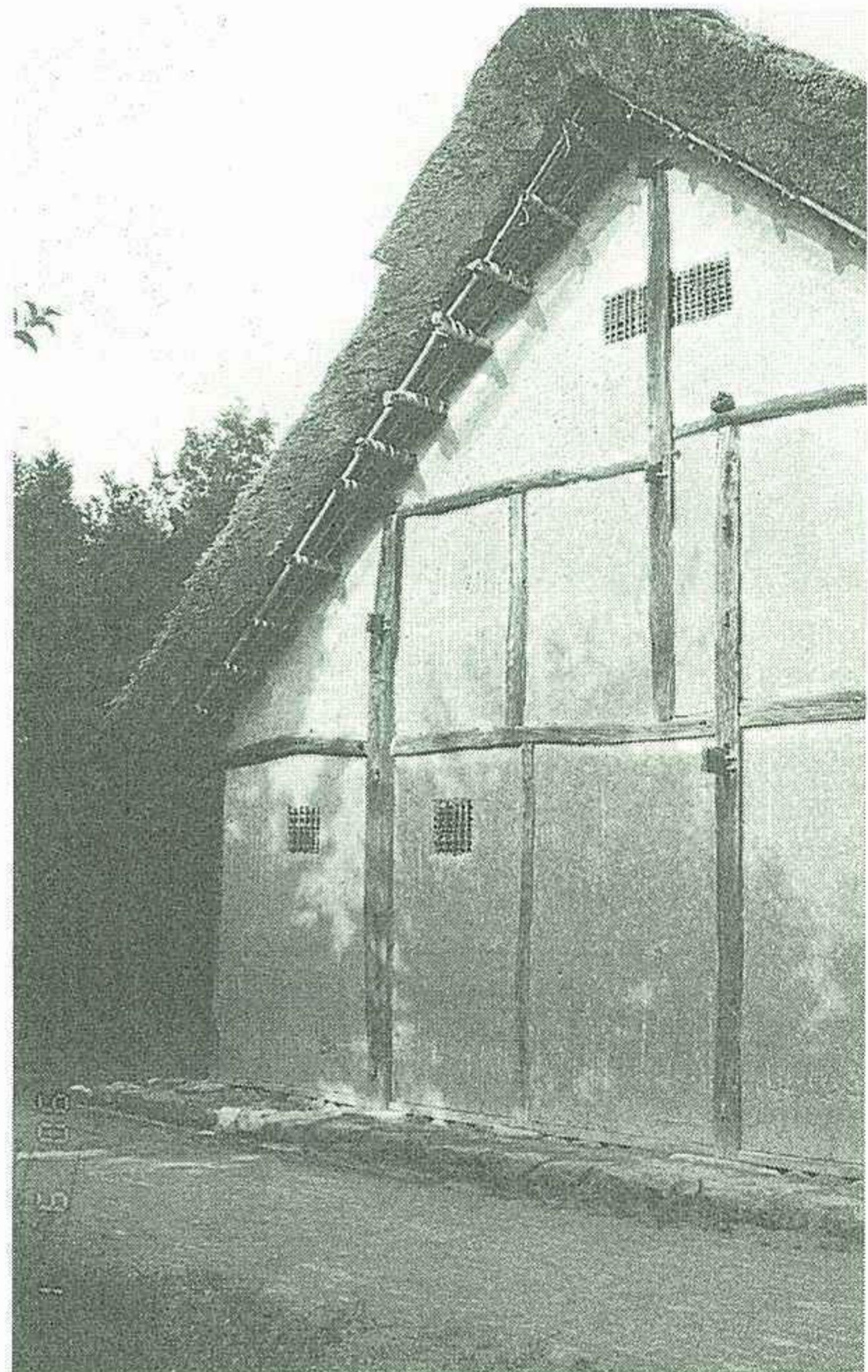
- 準ずる材料
- 壁の感触を大切に
- 伝統的材料
- あたたかみのあるもの
- 手による仕上



### ●野石積み



### ●日本の民家の土壁



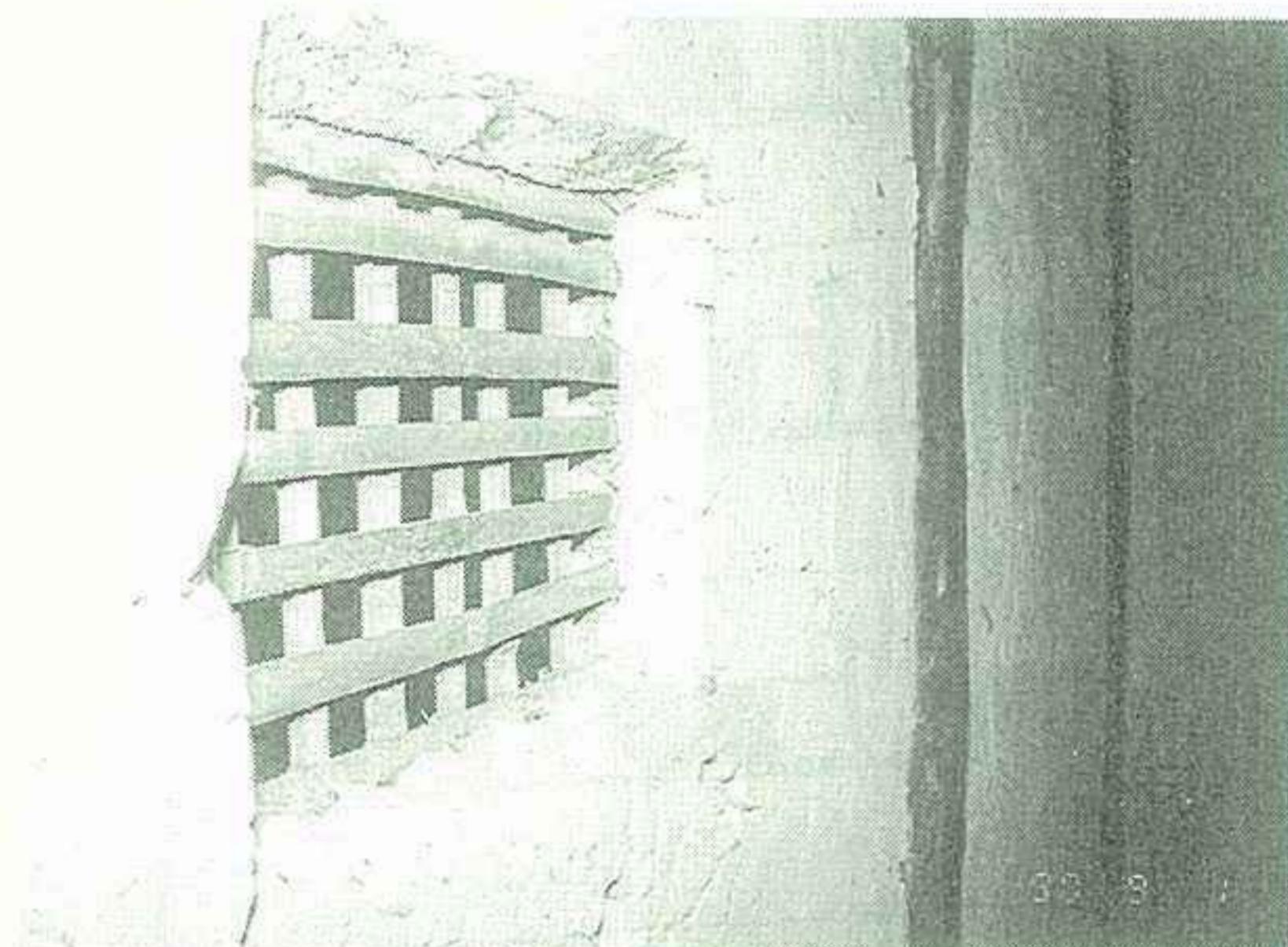
## 解 決 法

外壁の重要な部分ー1階部分、玄関の部分、街路に面する部分等は手作りの材料加工によるものとする。伝統的な材料、地場の材料等を使い、職方の手によるあたたかみのある感触となる様仕上げること。

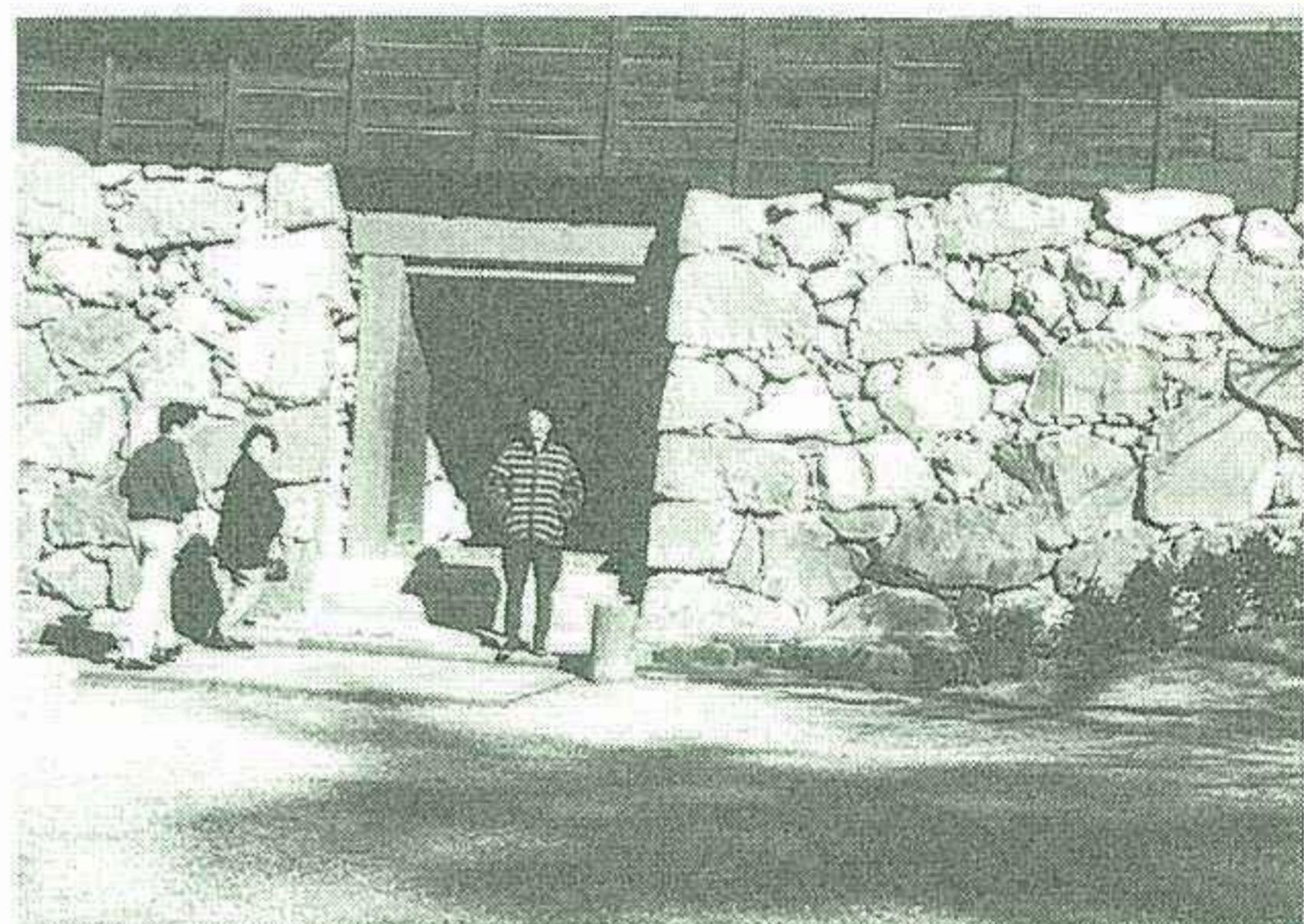
## 課 題

- ・小松石壁の使用方法
- ・材料供給システムの確立

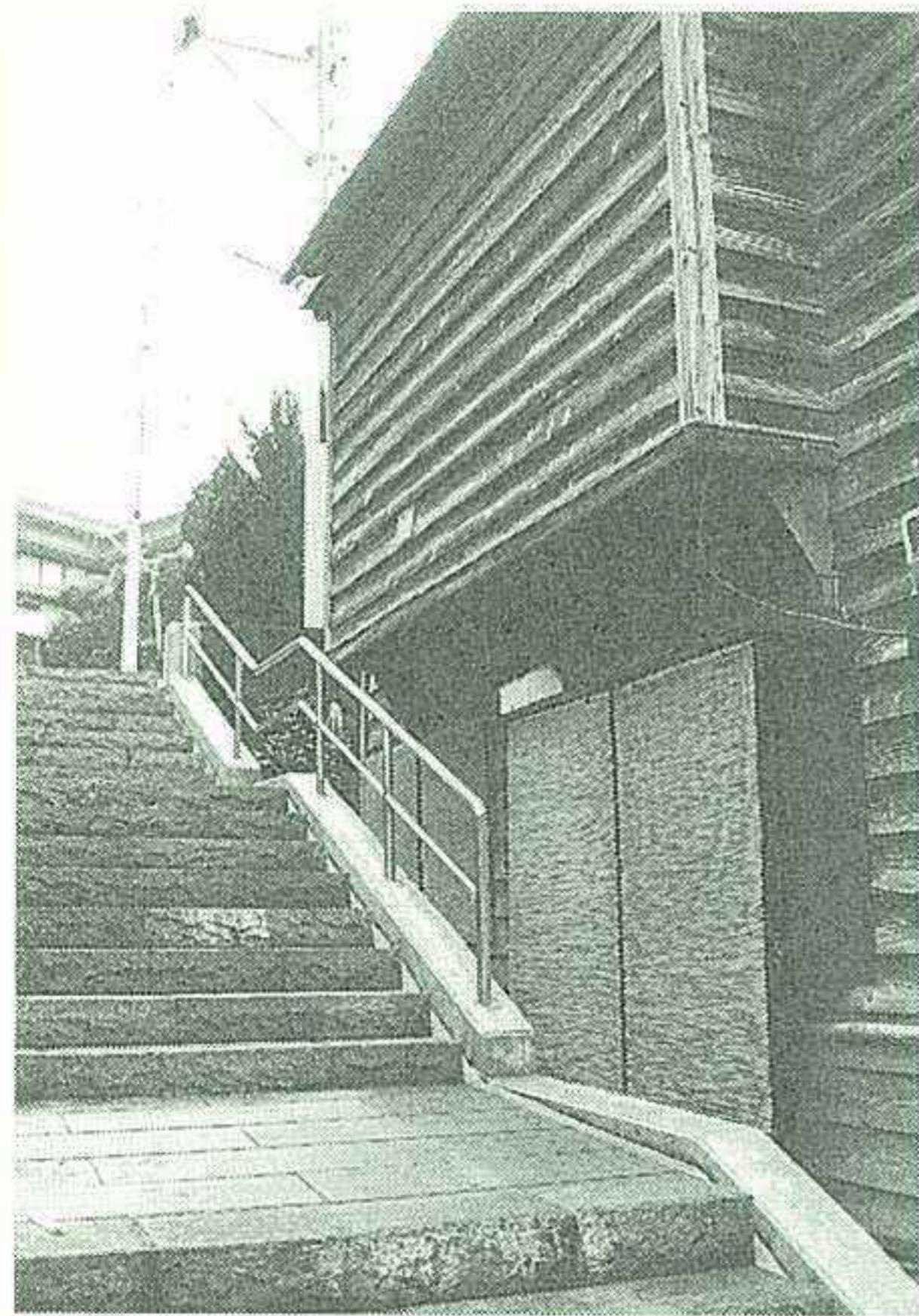
### ●日本の農家の土壁と風抜き



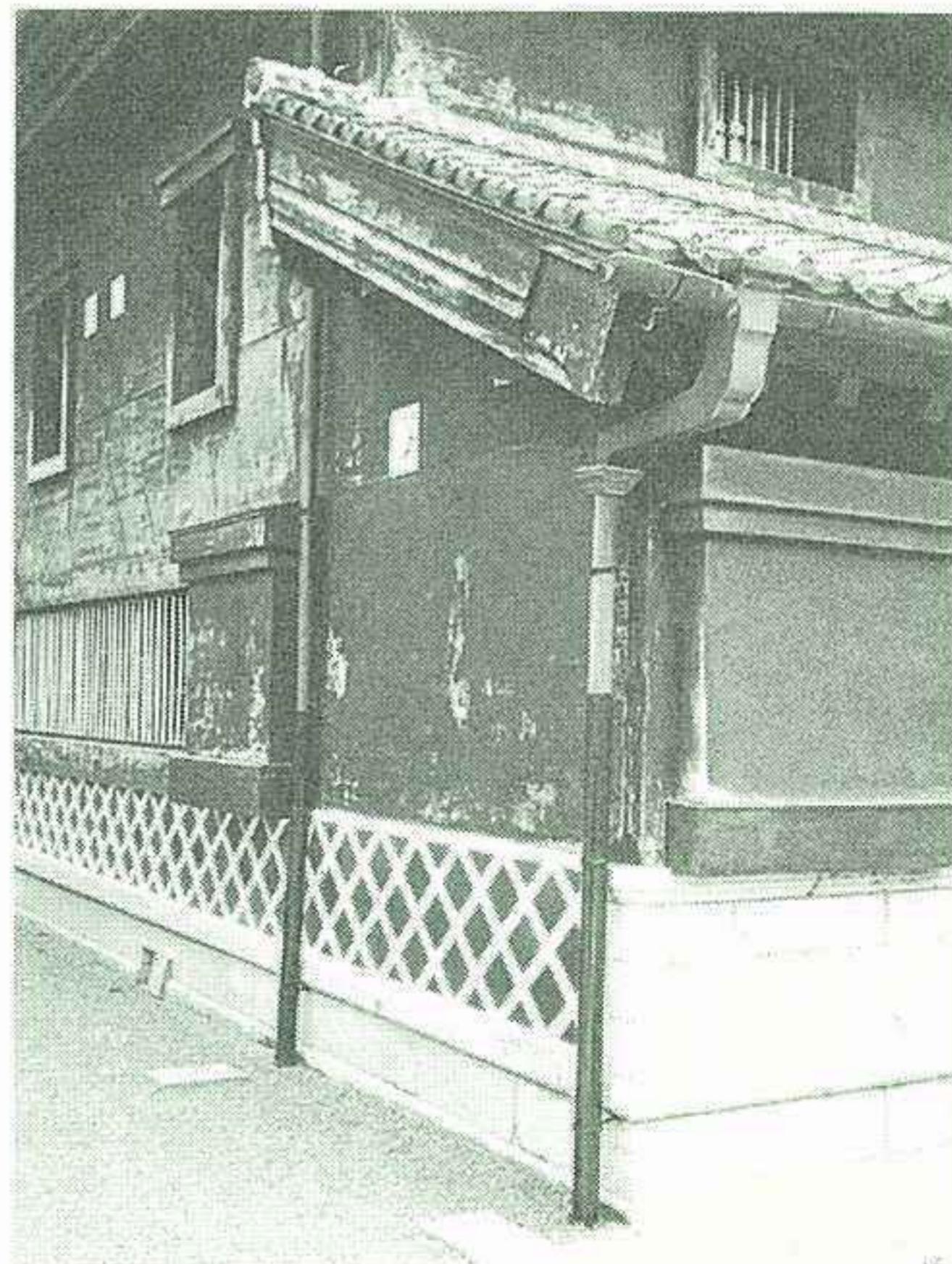
### ●城の石壁



### ●板壁



### ●色漆喰なまこ壁



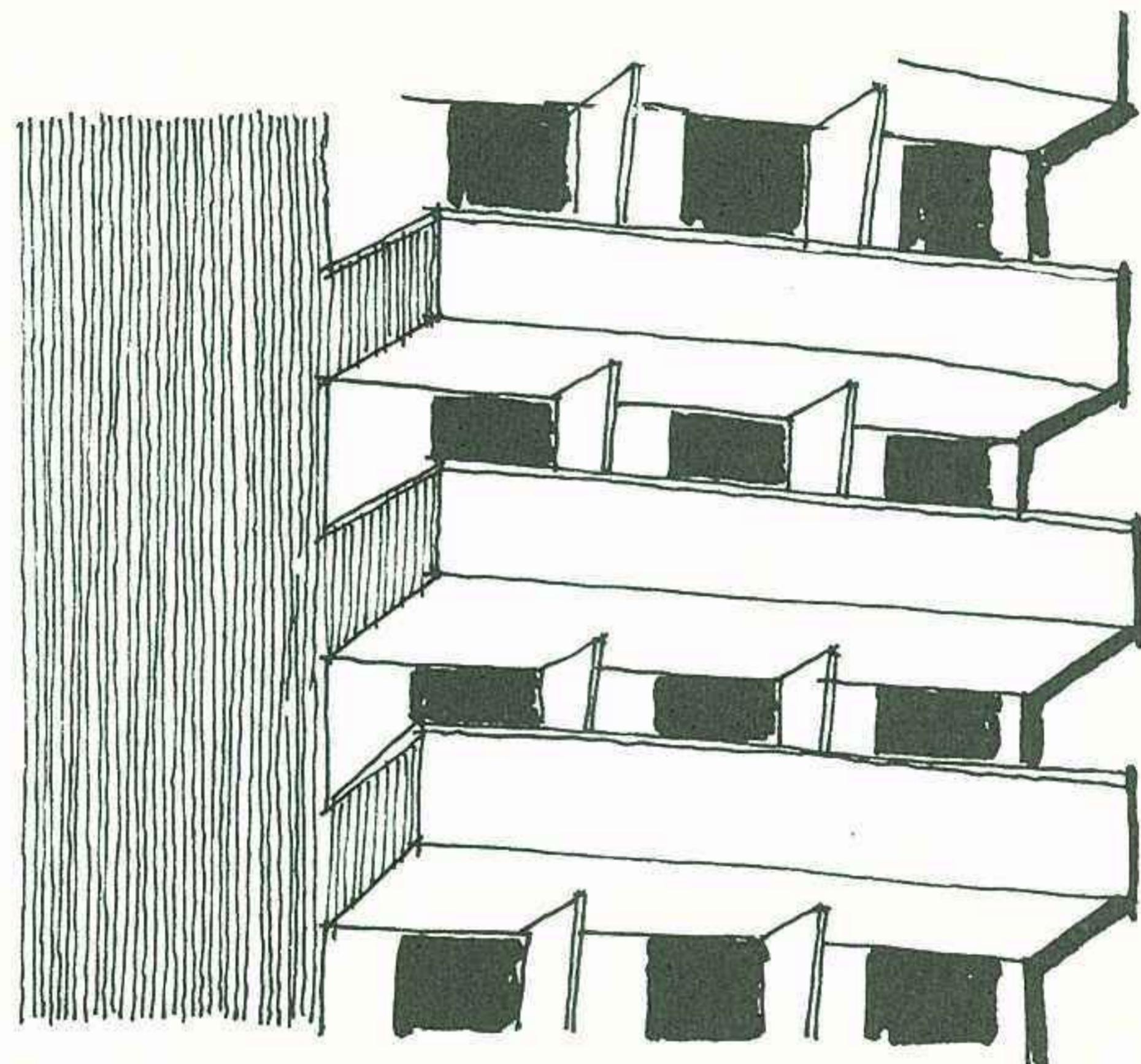
## キーワード

## 前提条件

### ○柱の雰囲気

構造的な問題を解決するだけのための柱は、決して建物の「格」を表現できないであろう。柱は場所、領域、流れ、安定感、そして文化さえも表現できる力をもっている。

#### ●柱を省略してしまったマンション



#### ●柱が作る美しい連続性

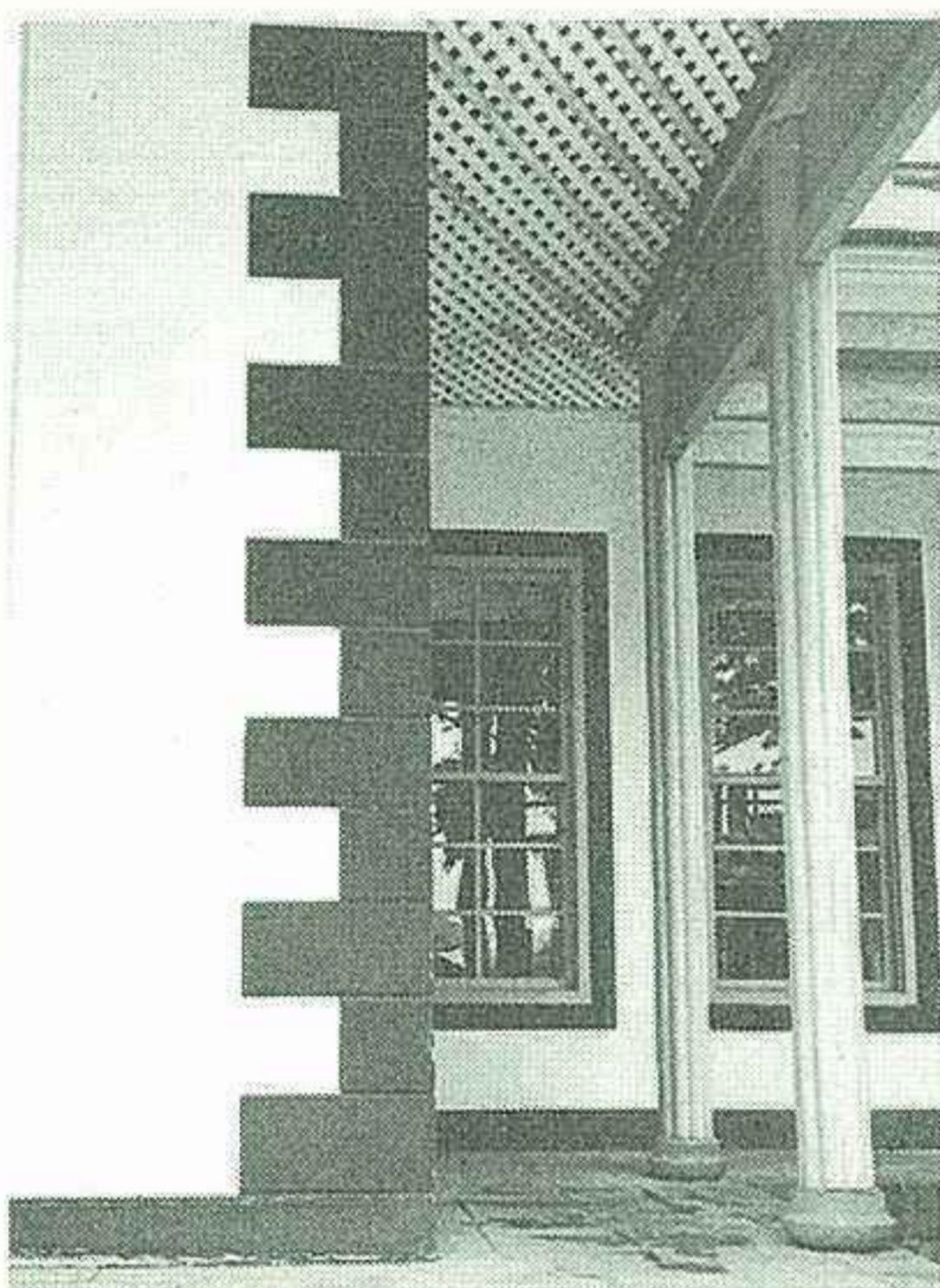


## 解 決 法

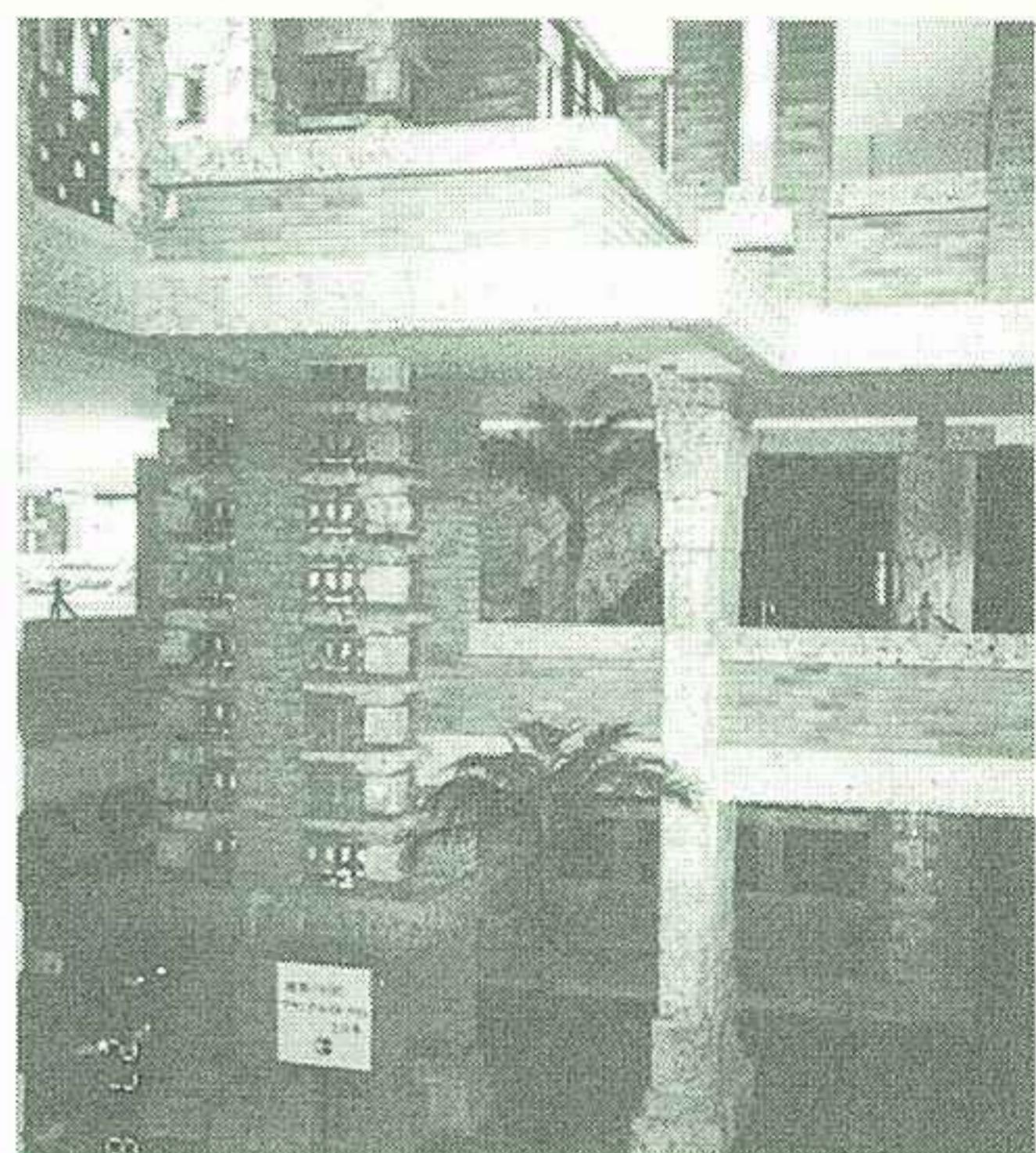
## 課 題

柱を表現すること。重要な柱は十分太くし、脚部頭部の表現をはっきり明確にすること。小さいゲヤ、柱廊部分では適度に細く連続的に表現すること。

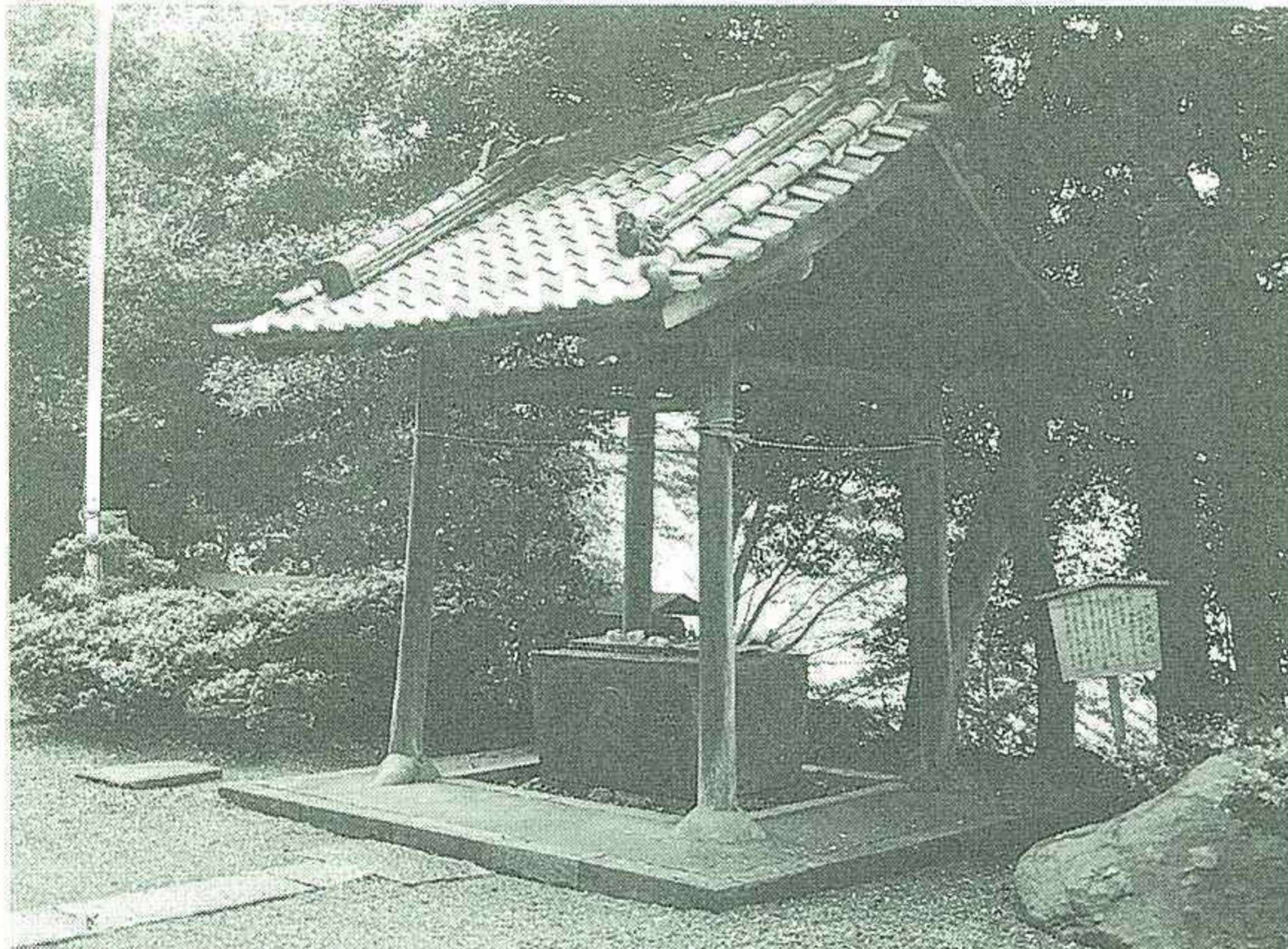
### ●内部、外部を軽やかにつなぐ柱



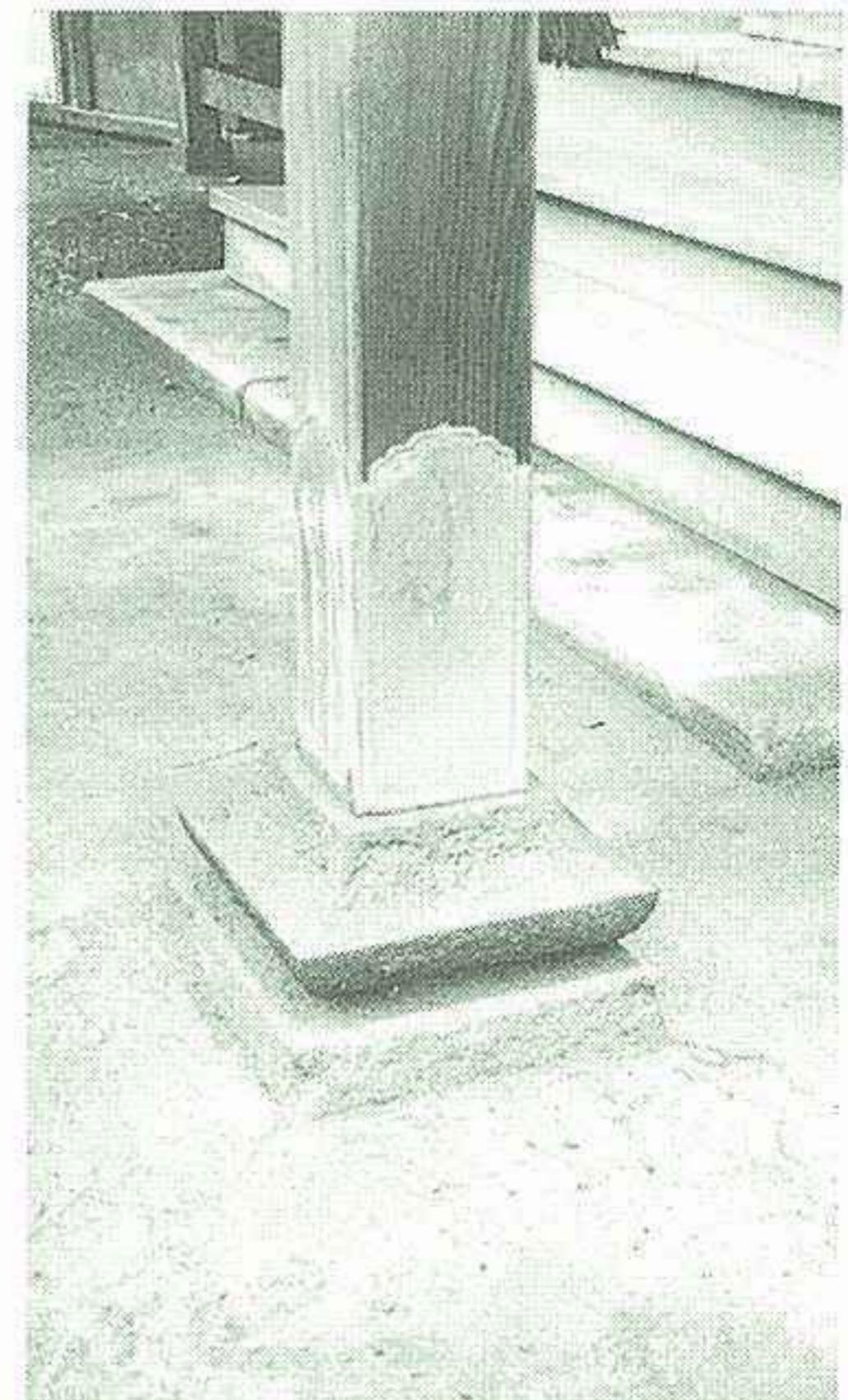
### ●見事な装飾に富む柱



### ●神聖な領域を作る柱



### ●大地とのつながりを強固にする柱



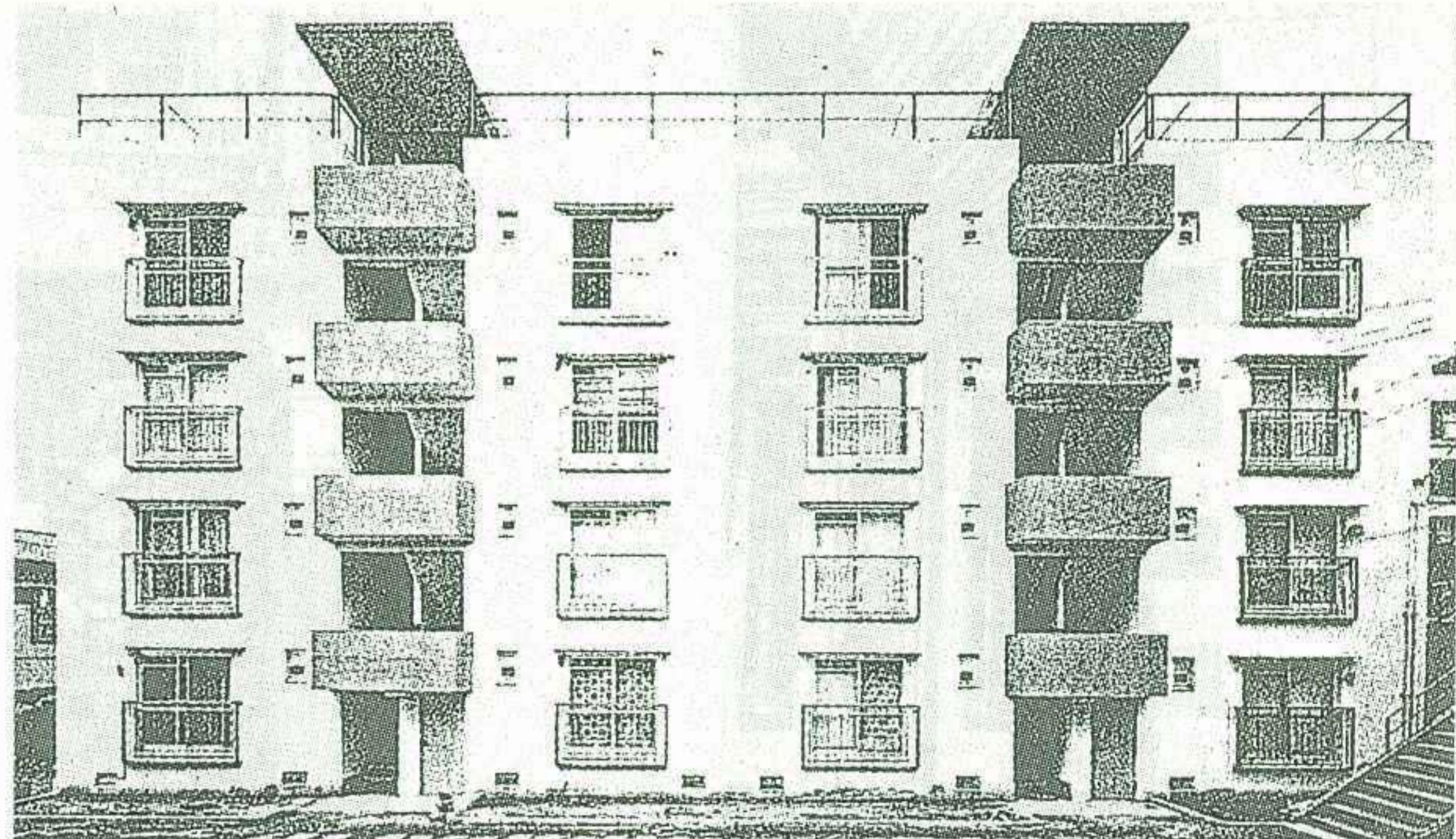
## キーワード

## 前提条件

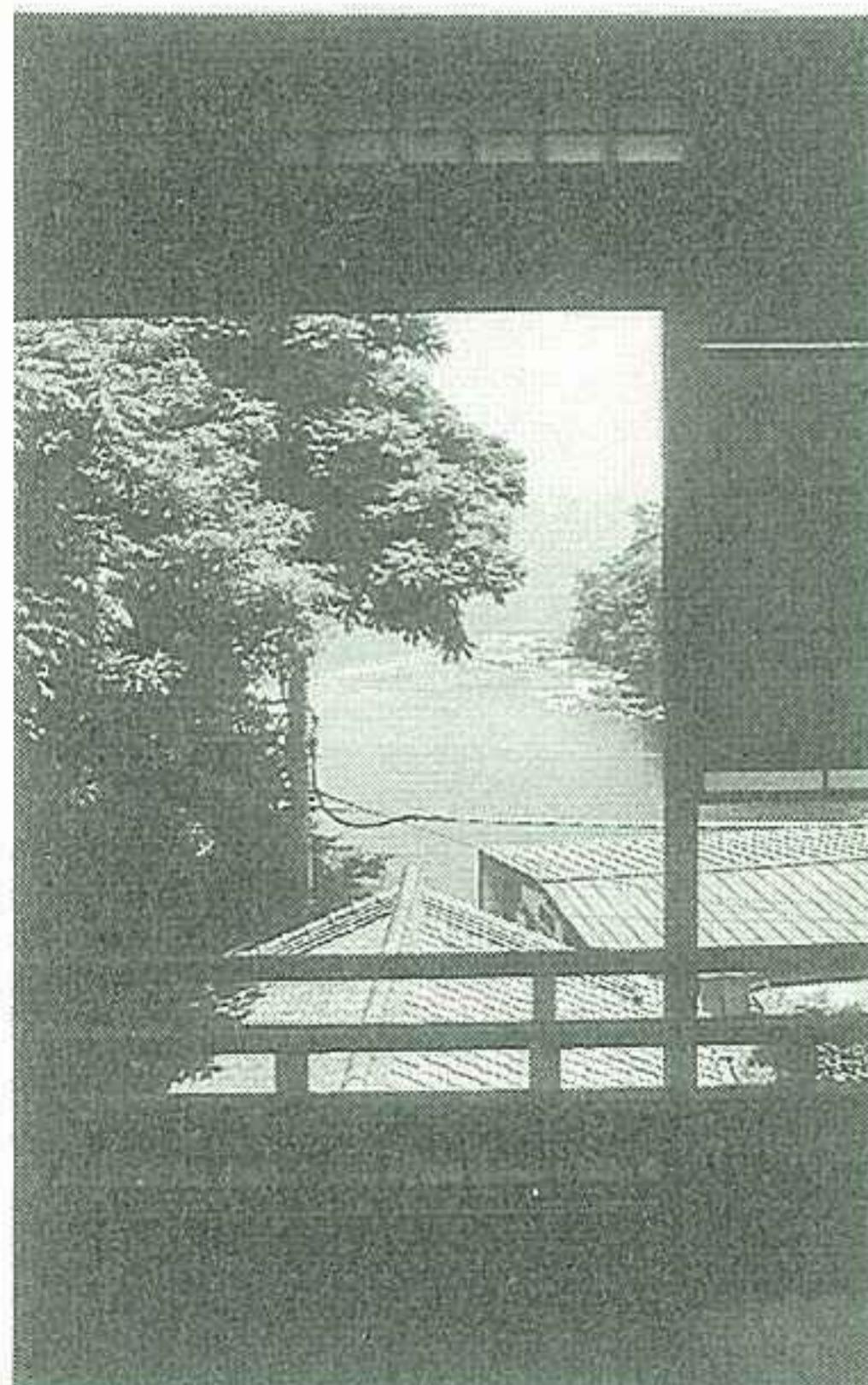
### ○戸と窓の大きさ

戸と窓の大きさは今日、日本全国画一的なもので戸や窓が表現する楽しい世界に出会うことは、めったになくなつた。

#### ●規格寸法の窓の繰り返し



#### ●海の景色を切り取るために作られた美しい窓

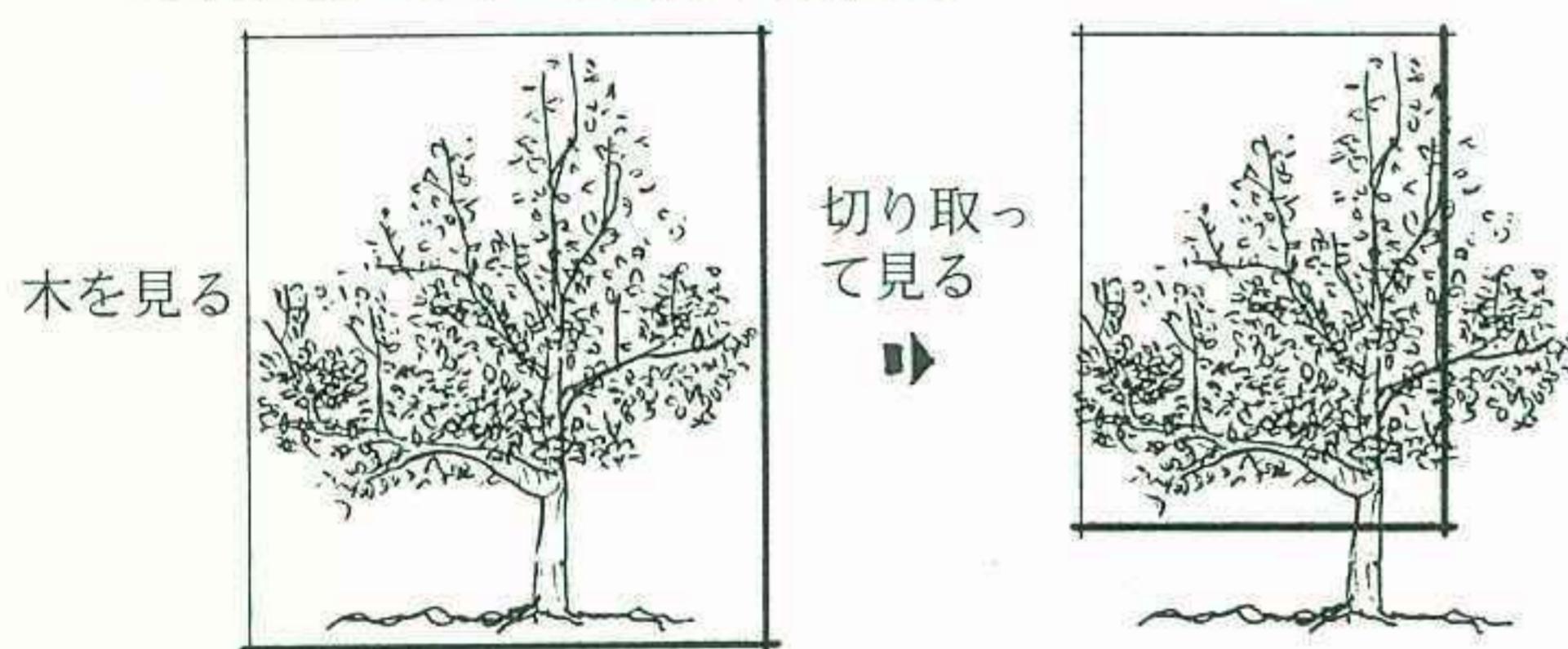


画一的な寸法を重要な窓やドアに用いないこと。  
壁の寸法、周りの風景などから自由な大きさや形を慎重に割り出すこと。

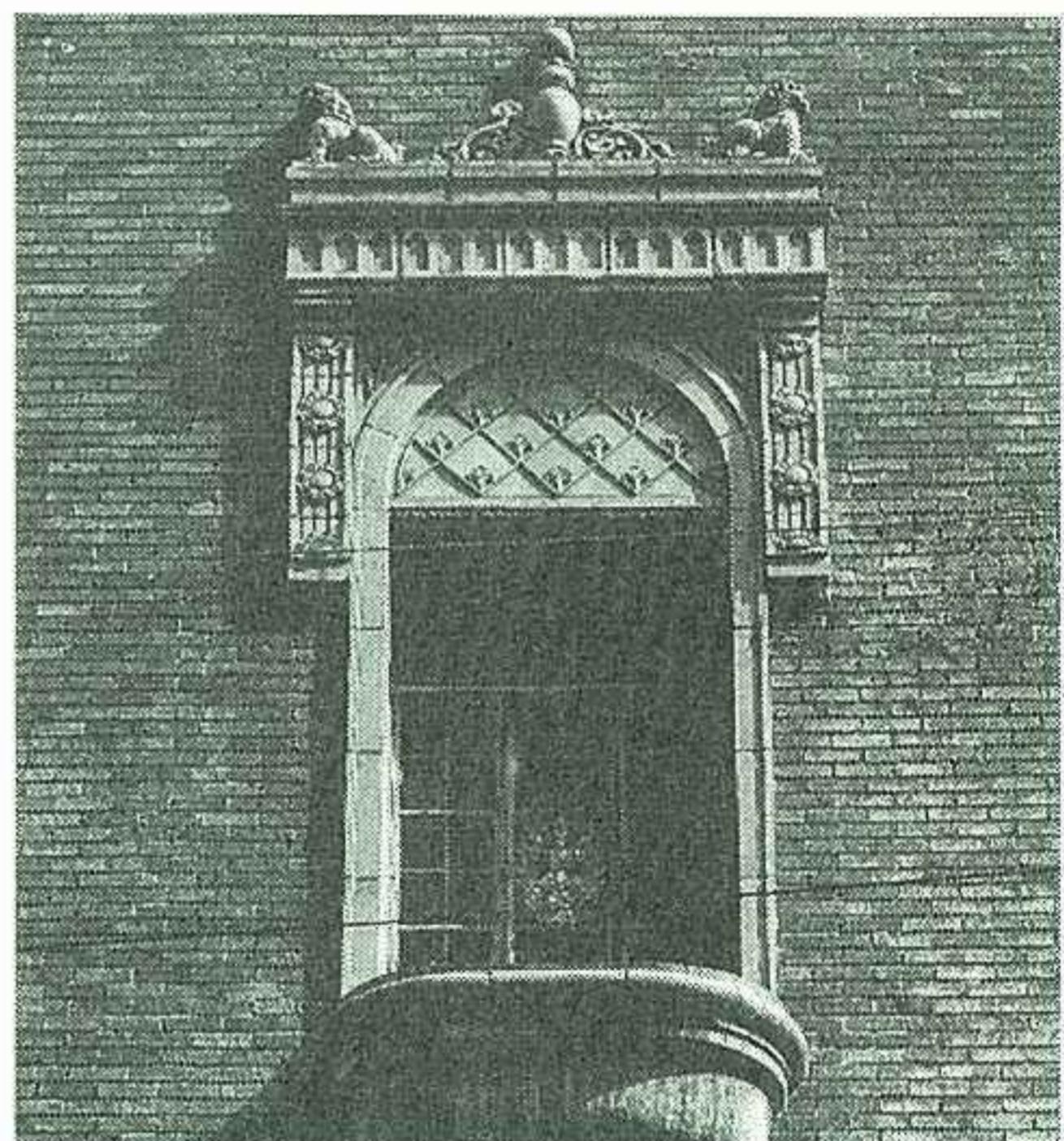
### ●規格寸法を少し変えてみる



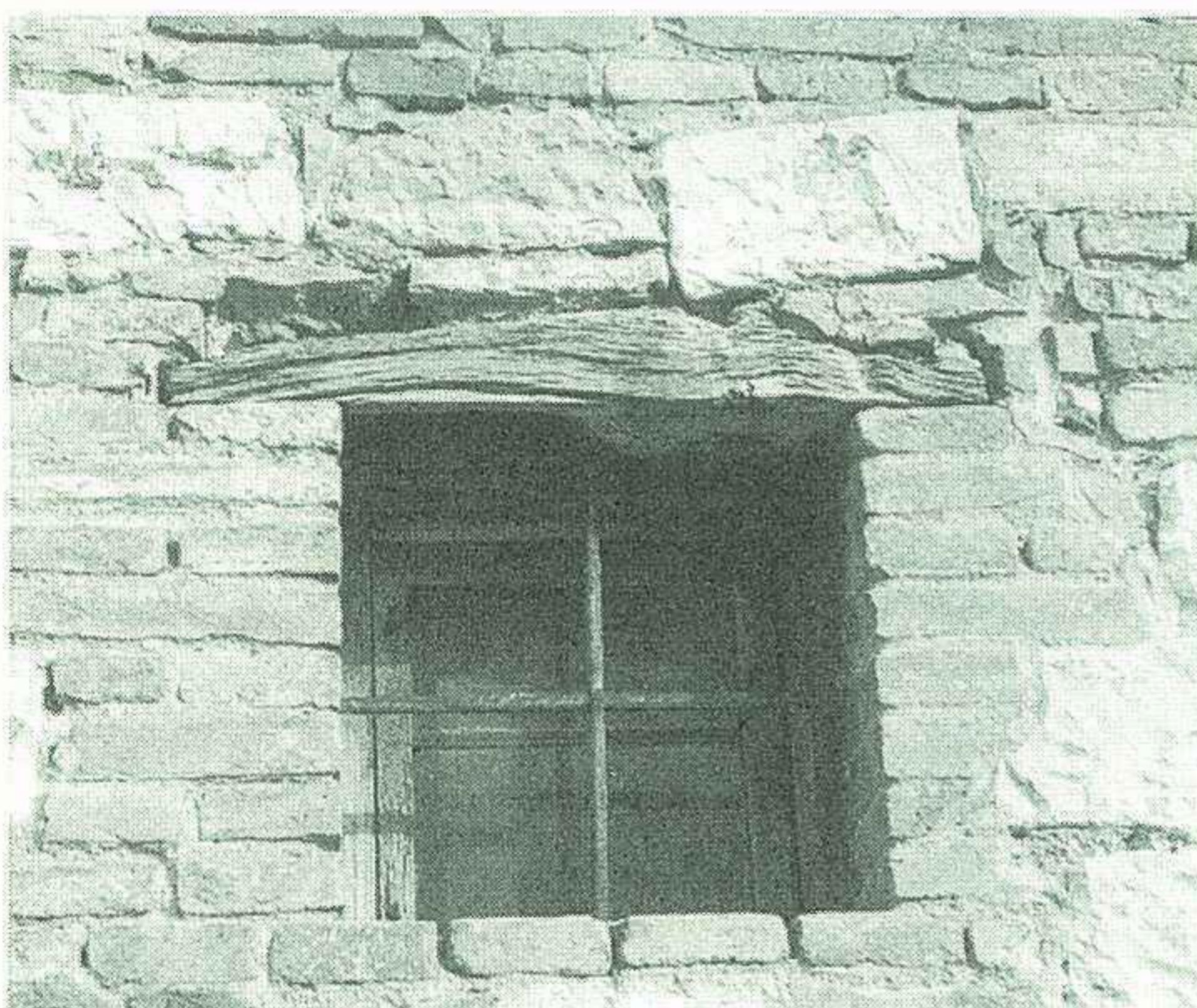
### ●何を見るかで表現を変える

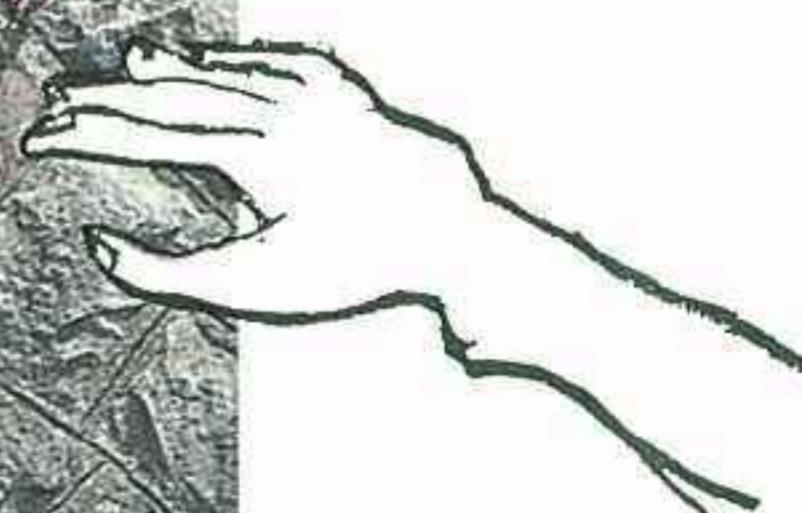


### ●窓の格



### ●壁の大きさ、必要に応じて自由に作られた窓





● 尺度の構成は先人からひきつがれたもの